1 事業者の氏名等

 事業者の氏名
 京浜急行電鉄株式会社

 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)
 取締役社長原田一之

 事業者番号A0632

2 報告する事業所等の全体の状況(2020年度の状況)

条例第8条の23第1項 報 告 事 業 所 数			原油換算エネルギー 使 用 量 の 合 計		kl
条例第8条の23第2項 報 告 事 業 所 数	7	事業所	原油換算エネルギー 使 用 量 の 合 計	117	kl

3 報告する全事業所における合計二酸化炭素排出量の状況

合計二酸化炭素排出量	8,250	t
------------	-------	---

4 評価の対象とする事業所等の範囲

評価対象事業所等	■義務提出事業所	折等 🗆	全事業所
----------	----------	------	------

5 評価対象事業所等における直近5か年度の状況

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	
合計二酸化炭素排出量	12,764.00	16,153.00	16,466.00	15,966.00	8,019.00	t
合計延床面積	99,555.17	135,723.84	135,723.84	141,900.44	112,602.02	m²
合 計 原 単 位	128.21031	119.01372	121.31988	112.51550	71.21541	kg-CO ₂ /m²

平均合計二酸化炭素排 出 量 削 減 率	10.97	%
平均合計原単位改善率	13.66	%

6 再生可能エネルギーの利用事業所数及び割合

再生可能エネルギー 利 用 事 業 所 数	0	事業所
再生可能エネルギー 利 用 事 業 所 率	0	%

7 評価結果

	~ ~	
地球温暖化対策の取組に係る評価	SS	ランク

(日本産業規格A列4番)

8	宝績年度の	目標達成の状況
()	大 小日 十 /マ リノ	

実 績 年 度 の 日標達成した。

9 提出年度の地球温暖化対策の目標

目	標	の	有	無		有		無		
合	計二酉	後化/	炭素	排 出	量	削減	率			%
合	計	原	単(立章		善善	率			%
再生	生可能	エネ	ルギー	- 導 /	人事	業所	率			%
そ			の			1	他	特記事項	質に内容を	記載

10 地球温暖化対策のレベル

重点対策のレベル

2

11 事業者としての取組

取組方針

当社では、エネルギーの月毎の使用量を把握し、過去のデータと比較することで、今後の省エネに役立てる。また地球温暖化対策報告書制度への取組みとして、空調や照明設備の運用改善に努め、省エネの推進により地球温暖化防止に貢献する。

		重点対策		その他対策
	対策番号	対策名	対策番号	対策名
	A104	取組状況の点検体制の構築	A110	外部専門家への相談依頼の実施
組織体制の	A108	組織横断的な推進体制の整備		
整備の状況				

12 特記事項

当社の鉄道事業においては、環境負荷が少なく、エネルギー効率のよい鉄道の利用を呼び掛けるとともに、設備面・技術面でもさらに環境性能を高め、電車・駅における省エネルギーを推進しています。また沿線に住む方々が気軽に参加できる環境イベントも開催し、啓発に努めています。

また京急グループとしても、省エネ機器や省エネ型商品の採用を推進するとともに、3R(リデュース、リユース、リサイクル)への積極的な取組みや、森林保全に対する取組みなどを積極的に行っています。

京急第3ビル、京急第10ビルは解体。京急第5ビルは廃止。ウィングEASTは高架工事による閉館。高輪エンパイヤビルは物件売却。京急第11ビル及び京急EXイン東京・日本橋は2020年4月に開業。京急EXイン羽田イハーションシティは、2020年7月に開業。

1	事業所等	この無更
	- ザボバハマ	トリノルルマ

事	業 所	等	の名	称	京急	急第	2ビ	ル																
事	業	所	番	号	А	0	6	3	2		0	0	0	4										
			/		Ŧ	1	0	8		0	0	7	4	区	市	町	村	名]	東京	都港	区			
事	業 所	等の	所有	E 地	町』以	名 番	· 地 下	高輔	3-	25 —	23													
事業	美所等	きの タ	延床面	面積		10	, 472	.05	m^2	事	業 ア ネ ル	r ド ドギ	の : 	実 <i>i</i> 使	績 [年 甲:		の 間		1年月	度分			1年未満
所	有		形	態		自己	が	有] 他	1者月	有												
報	告		範	囲		建物	カ の全	全部		〕	物の)—‡	郭(ラ	ナ	ン	\)			〕建	物の)一音	羽(そ	その	他)
北口什	- <i>55</i> : III	\sim	-ナ-フ	T VA		事務	歽					商業	(施	没(5	物具	坂)			直	業旗	豉(飲1)	
粒 亡	了 車口 土	() ±	こたる月	力坯		工場] 7					複合	施	没					こそ	の他	Į,			
にま	さける	細り	主業 分類 看	肾号	6	9	1	1			(事業	美区 2	分] [直営	店			加盟	店			非該当
再生の	E 可育 利	とエー用	ネル ^は 状	ギー 況				ピエネ すの設		_		再生 気の			ネバ	レギ・	一電	1		証書 の利	によ 用	る環	境価	値
	手度 らの		提告 卢 芝 更	内 容 点																				

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	(1)	351	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	682	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	3	4	t
	総計(④=②+③)	4	686	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当た りの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	6	65.1	$kg-CO_2/m^2$

	燃料等の	· <u>血量等%,</u>	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(t) @=8×9×44/12
464.	都市ガス			Nm^3	7,586.3	45.00	341.4	0.0136	17.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
753	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
~~	その他の買電(昼夜	- 間不明の場合を含む。)		kWh	1,361,241.0	9.76	13,285.7	0.4890	665.6
規則	第5条の17第3項	可場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					¹⁴ 13,627.1		⁽¹⁾ 682.7
その	水道及び工業	用水道		m ³	6,058.0			0.2660	1.6
他	公共下水道	-		m^3	6,058.0	/		0.4000	2.4
		合 計							1.0

^{※1} 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

^{※2} ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

田 織 体 制 の 整 備 エネルギー等の B106		ルギー等の状況の把握	B103 B106 B107	テナントへの温暖化対策協力依頼 時間的に詳細に把握 過去のデータによる傾向の把握 主要設備の使用状況の把握	_	対策名使用量の推計に必要な情報の提供
田 織 体 制 の 整 備 エネルギー等の B106		ルギー等の状況の把握	B103 B106 B107	時間的に詳細に把握 過去のデータによる傾向の把握 主要設備の使用状況の把握	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
正 ネルギー等の 使用 状況の 把握 B106 過去のデータによる傾向の把握 B107 主要設備の使用状況の把握 C813 外灯等の点灯時間の季節別管理 C813 外灯等の点灯時間の季節別管理 D101 ランプ等の定期的な清掃・交換 D102 セントラル空調のフィルター清掃 対策 設備 保 守 対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内) 設備 導入 対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E104 照明点灯範囲の細分化 医調点灯範囲の細分化 上は年度の地球温暖化対策の目標 は の 有 無 □ 有 ■ 無 ペンチマーク区分 日標値等(選択) Cの。排出量(延珠而借当たり) その他 特記事項に内容を記載		ルギー等の状況の把握	B106 B107	過去のデータによる傾向の把握 主要設備の使用状況の把握		
正 ネルギー等の 使用 状況の 把握 B106 過去のデータによる傾向の把握 B107 主要設備の使用状況の把握 C813 外灯等の点灯時間の季節別管理 C813 外灯等の点灯時間の季節別管理 D101 ランプ等の定期的な清掃・交換 D102 セントラル空調のフィルター清掃 対策 設備 保 守 対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内) 設備 導入 対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E104 照明点灯範囲の細分化 医調点灯範囲の細分化 上は年度の地球温暖化対策の目標 は の 有 無 □ 有 ■ 無 ペンチマーク区分 日標値等(選択) Cの。排出量(延珠而借当たり) その他 特記事項に内容を記載		ルギー等の状況の把握	B106 B107	過去のデータによる傾向の把握 主要設備の使用状況の把握		
正 ネルギー等の 使用 状況の 把握	更 省エネルギー対策	状況の把握	B106 B107	過去のデータによる傾向の把握 主要設備の使用状況の把握		
B106 過去のデータによる傾向の把握 B107 主要設備の使用状況の把握 E103 A対等の点灯時間の季節別管理 B107 フンプ等の定期的な清掃・交換 D102 セントラル空調のフィルター清掃 対策 D105 換気フィルターの清掃・点検 D108 その他設備の定期的な保守・点核 B107 をの他設備の定期的な保守・点核 B108 をの他設備の定期的な保守・点核 B109 電光灯へ電子安定器採用(屋内) E102 電光灯へ電子安定器採用(屋内) E104 照明点灯範囲の細分化 E104 照明点灯範囲の細分化 E104 原明点灯範囲の細分化 E105 原明点灯範囲の細分化 E106 原明点灯範囲の細分化 E106 原明点灯範囲の細分化 E107 原明点灯範囲の細分化 E108 原明点灯範囲の細分化 E109 原列点灯範囲の細分化 E109 原列点灯範囲の細分化 E109 原列点灯範囲の細分化 E109 原列点灯範囲の細分化 E109 原列点灯画の細分化 E109 E109	更 省エネルギー対策 用 選 選	状況の把握	B106 B107	過去のデータによる傾向の把握 主要設備の使用状況の把握		
度用状況の把握 B107 主要設備の使用状況の把握 E107 主要設備の使用状況の把握 (C813 外灯等の点灯時間の季節別管理 (D101 ランプ等の定期的な清掃・交換 D102 セントラル空調のフィルター清掃 対策 設備保守対策 (D105 換気フィルターの清掃・点検 D108 その他設備の定期的な保守・点核 (E103 高効率照明器具の採用(屋内) (E104 照明点灯範囲の細分化 (E104 照明点灯範囲の細分化 (E104 照明点灯範囲の細分化 (E104 照明点灯範囲の細分化 (E104 照明点灯範囲の細分化 (E104 原明点灯範囲の細分化 (E105 原子マーク区分 (E106 原列点灯範囲の細分化 (E107 原列点灯範囲の細分化 (E108 原列点灯範囲の細分化 (E108 原列点灯範囲の細分化 (E109 原列点灯画の細分化 (E109 原列点灯画の細分の細分の細分の細分の細分の細分の細分の細分の細分の細分の細分の細分の細分の	更 省エネルギー対策	状況の把握	B107	主要設備の使用状況の把握		
B107 主要設備の使用状況の把握 C813 外灯等の点灯時間の季節別管理 であった。	省エネルギー対策設					
選出	省エネルギー対策	軍 用 対 策	C813	外灯等の点灯時間の季節別管理		
音 は ネ ネ ル ギー カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ	省エネルギー対策	重 用 対 策				
音 は ネ ネ ル ギー カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ	省エネルギー対策	軍 用 対 策				
日本 ネルルギー カロ	省エネルギー 対策	重 用 対 策				+
音 は ネ ネ ル ギー カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ	省エネルギー対策	軍 用 対 策				
D101 ランプ等の定期的な清掃・交換 D102 セントラル空調のフィルター清掃 D105 換気フィルターの清掃・点検 D108 その他設備の定期的な保守・点核 D108 その他設備の定期的な保守・点核 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内) E104 照明点灯範囲の細分化 E104 照明点灯範囲の細分化 E104 照明点灯範囲の細分化 E104 に対策の目標 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(衛年度比) CO₂排出量(延床面積当たり) kg-CO₂/m² CO₂排出量(総量) その他 特記事項に内容を記載	エネルギー対策					
D101 ランプ等の定期的な清掃・交換 D102 セントラル空調のフィルター清掃 D105 換気フィルターの清掃・点検 D108 その他設備の定期的な保守・点核 D108 その他設備の定期的な保守・点核 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内) E104 照明点灯範囲の細分化 E104 照明点灯範囲の細分化 E104 照明点灯範囲の細分化 E104 に対策の目標 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(衛年度比) CO₂排出量(延床面積当たり) kg-CO₂/m² CO₂排出量(総量) その他 特記事項に内容を記載	エネルギー対策			+		
ルギー 対策 設備保守対策	ルギー 対策 					
新	ギー対策					
対策 設備保守対策 日	対 策 設 —					
策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内) 設備導入対策	策 設		D101		D102	セントラル空調のフィルター清掃
E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内) E104 照明点灯範囲の細分化 基準度の目標達成の状況 日標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 無 日標値等(選択) インチマーク区分 ランク CO2削減率(前年度比) CO2排出量(延床面積当たり) 株g-CO2/m² CO2排出量(総量) その他 特記事項に内容を記載		分備保守対策	D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
設備導入対策	設	V MID INTO 3 2/4 2/6				
設備導入対策	訍					
設備導入対策 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標	設		E103	高効率照明器具の採用(屋内) 		
実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比) CO₂排出量(延床面積当たり) kg-CO₂/m² CO₂排出量(総量) その他 特記事項に内容を記載	1	设備導入対策			E104	照明点灯範囲の細分化
5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床而積当たり) kg-CO ₂ /m² CO ₂ 排出量(総量) その他 特記事項に内容を記載						
5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床而積当たり) kg-CO ₂ /m² CO ₂ 排出量(総量) その他 特記事項に内容を記載						
5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床而積当たり) kg-CO ₂ /m² CO ₂ 排出量(総量) その他 特記事項に内容を記載		 年度の目標達成	の状況	□ 目標達成した。		
目標の有無□ 有 ■ 無	*****	1 2 1 1 1 1 1 1 1 1	7 70 -	1777127771		
マンチマーク区分 ランク CO2削減率(前年度比) 日標値等(選択) CO2排出量(延床面積当たり) kg-CO2/m² CO2排出量(総量) その他 特記事項に内容を記載	5 提			策の目標		
目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床而積当たり) kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量) その他 特記事項に内容を記載	目 楞	票の有無	□有	無		
その他特記事項に内容を記載			ベンチマー	ウ区分ランク	' CO	2削減率(前年度比) %
<u>'</u>	目標値	直等(選択)	CO ₂ 排出量	(延床面積当たり) kg-C	O_2/m^2 CO	2排出量(総量) t
<u>'</u>		ľ	その他	特記事項に内容を	と記載	<u> </u>
3. 快到東西				1		
	5 特	記事項				

1 事業所等の概要

その2

事	業房	f 等	の名	称	シナ	ーガ!	フグ、	ース	前庭	医店套	浦													
事	業	所	番	号	А	0	6	3	2	_	0	0	0	8										
					Ŧ	1	0	8		0	0	7	4	区	市	町	村:	名	東京都	都港区				
事	業 所	等の	所在	∄地.	町 以	名番	地 下	高輔	3-	13-	3													
事	業所	等の	延床面	面積			491	.88	m^2	事	業 求 ル	ī等 レギ	の : 	実 約 使	漬 [年 !	度 明	の 間	1	年度分	分		1年	未満
所	有	Î	形	態		自己	りが	育		〕他	1者所	有												
報	겉	i	範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)—‡	郭(ラ	ナ	ント	·)] 建/	物の-	-部	(その	の他)
去口	生 薪 田	E O T	こたる月	日之		事務	鲚					商業	(施)	没(4	魩則	反)			商	業施設) (创	欠食))	
邗	ㅁ 뿌뜨건	ロマノコ	=1-07	17 /匹		工場] ガ					複合	施	没] その	の他				
	おける	る細ぐ	章 業 分分 類 番	≨ 号	6	9	1	1	連	鎖化	(事業	美区 2	分		Ī	直営	店			加盟店	i		非	該当
再の	生可利	能エ 用	ネルキ 状	デー 況			:可能 記設備		ルギ :置	_		再生 気の			ネル	ギ・	一電			証書に の利用	よる	環境	価値	Ĺ
前 か		の 롺 の 多	设 告 内 定 更	容点																				

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=⑩×0.0258)	91	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 178	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	3 2	t
	総計(④=②+③)	⁽⁴⁾	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 361.8	$kg-CO_2/m^2$

Ŭ	, o () () ()	-田玉4-21-114	推計				熱量	二酸化	炭素排出量
	燃料等の	種別	の	単位	使用量	係数	然里 (GJ)	排出 係数	排出量**1
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	徐毅 ⑨	(t) @=8×9×44/12
-1641.	都市ガス			Nm^3	20,572.3	45.00	925.8	0.0136	46.2
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
77.1	その他()				0.0				
	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
~~	その他の買電(昼夜	- 間不明の場合を含む。)		kWh	270,390.0	9.76	2,639.0	0.4890	132.2
規貝	第5条の17第3項	可場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 3,564.8		¹⁵ 178.4
その	水道及び工業	用水道		m^3	4,334.0			0.2660	1.2
他	公共下水道			m^3	4,334.0	/		0.4000	1.7
	_	合 計							¹⁶ 2.9

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比)				重点対策			その他対策
田織体制の整備			対策番号	対分		対策番号	対策名
正ネルギー等の 使用状況の把握 B103 時間的に詳細に把握 過去のデータによる傾向の把握 運用対策 設備保守対策 設備保守対策 設備導入対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋 展明点灯範囲の細分化 上級年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比)			A404	テナントへの温暖を	上対策協力依頼		
正ネルギー等の 使用状況の把握 B103 時間的に詳細に把握 過去のデータによる傾向の把握 運用対策 設備保守対策 設備保守対策 設備導入対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋 展明点灯範囲の細分化 上級年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比)	は 繊 体 制 の	整 備					
正 ネルギー等の 使用 状 況 の 把 握 選上 用 対 策 設備 保 守 対策 設備 保 守 対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋 設備 導入 対策 E104 照明点灯範囲の細分化 表徴年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比)	- 1174 11 1174	VIII					
正 ネルギー等の 使用 状 況 の 把 握 選 用 対 策 選 用 対 策 設 備 保 守 対 策 設 備 保 守 対 策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋 設 備 導 入 対 策 E104 照明点灯範囲の細分化 基 提出年度の 目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO。削減率(前年度比)			D100	n+ 88 44) - 30 4m) - (c	, LD		
選用対策 選用対策 設備保守対策 設備導入対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋 限明点灯範囲の細分化 と104 照明点灯範囲の細分化 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□有■無 ベンチマーク区分 ランク CO。削減率(倫牛度比)	ニネルギー	等の					
省エネルルギー 対策	見用状況の	把 握	B100		の傾向の危煙		
省 エネルルギー 対策							
省 エネルルギー 対策							
省 エ ネ ネ ル デ							
省 エ ネ ネ ル デ							
正 ネ ネ ル ギ	運用対	策					
ネルギー 対策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋 照明点灯範囲の細分化 Ei04 照明点灯範囲の細分化 Ei04 照明点灯範囲の細分化 Ei04 原明点灯範囲の細分化 Ei04 原明点灯範囲の細分化 Ei05 提出年度の地球温暖化対策の目標							
ルギー 対策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋 設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 E104 照明点灯範囲の細分化 E105 提出年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比)							
対策 設備保守対策	レ						
設備保守対策							
E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋 E104 照明点灯範囲の細分化 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標目標の有無 両有 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比)	· 付						
設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 Eiff	新 設備保守	対策					
設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 Eiff							
設備導入対策 - 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 - 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□有■無 - ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比)			E103	高効率照明器具0)採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比)	設備導入	対策				E104	照明点灯範囲の細分化
5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 (こ) (本) (本) (本) (本) (立) (元) (元) (元) (元) (元) (元) (元) (元) (元) (元						-	
5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 (ベンチマーク区分 ランク (CO₂削減率(前年度比)							
目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無		票達成	の状況	□ 目標達成し	た。		
目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無		- 11 1	NP 85 # 1	htt	 ,		
ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比)	提出年度のま) 地球 = 無	温暖化系	東の目標			
	1 保 7 年	37%	□ 相	カダ分	ラック	Ico	削減率(前年度比)
コ	目標値等(選択	,					排出量(総量) t
目標値等(選択) CO2排出量(延床面積当たり) kg-CO2/m² CO2排出量(総量) その他 特記事項に内容を記載	11 际 但 寸 (医)八	.)					7万十二里(松里)
が心ず気に打住を心戦			-C 07/IE	าบ	山事項(こ)1合と	pL 単义	

1 事業所等の概要

その2

事	業月	斤 等	の名	称	新馬	馬場	高架	ドアノ	店舗														
事	業	所	番	号	А	0	6	3	2	_	0	0	1	0									
					₹	1	4	0		0	0	0	1	区	市	町	村	名	東京都品	川区			
事	業所	等の	所 在	地	町。以	名番	F 地 下	北品	2 الر	-16	-6												
事	業所	等の	延床面	面積			281	.95	m^2	事	業	「等 レギ	の <u>:</u> 	実 á 使	績 [丿	年 刊 :		の間	■ 1年	度分] 1·	年未満
所	7	Ī	形	態		自己	りが	育		〕他	1者月	折有											
報	<i>-</i>	<u> </u>	範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)— [₽]	郭(ラ	ナ	ント	、)] 建物の	つ一剖	『(そ	· のfi	也)
七口	生 銘 [田のう	こたる月	日之		事務	鲚					商業	(施)	没(4	物原	坂)			商業族	施設(1	飲食	E)	
干区	口甲山	出マクヨ	ニ/こる/	17 区		工場] ガ					複合	施	没					〕その他	1			
	おけ	る細っ	至業分類	争号	6	9	1	1	連	鎖化	と事業	業区2	分		Ī	直営	店		□ 加盟	店		■ ∌	丰該当
再の	生可	能 エ 用	ネルキ 状	デー 況				エネ jの設	ルギ :置	_		再生 気の			ネル	ノギ・	一電	1	□ 証書の利	ドによる 用	5環均	竟価	値
前か			设告内 変 更	容点																			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=⑩×0.0258)	38	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 74	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	3 1	t
	総計(④=②+③)	^④ 75	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当た りの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 262.4	kg-CO ₂ /m ²

		田東 (1。>) 110	<u> </u>						
	燃料等の	種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	® =(⑥ /1000)× ⑦	9	(C) (0)=(8)×(9)×44/12
.164.	都市ガス			Nm^3	11,756.5	45.00	529.0	0.0136	26.4
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
7773	その他()				0.0				
	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
~(その他の買電(昼夜	。 間不明の場合を含む。)		kWh	97,699.0	9.76	953.5	0.4890	47.8
規則	第5条の17第3項	(の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 1,482.6		⁽¹⁾ 74.2
その	水道及び工業	用水道		m^3	1,940.0	/		0.2660	0.5
他	公共下水道			m ³	1,940.0			0.4000	0.8
		合 計							1.3

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

組織体制の整備 H A ルギー等の 使用状況の把握 運用対策 設備保守対策 設備保守対策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内 E104 照明点灯範囲の細分化 表積年度の目標達成の状況 日標値等の有無 □ 有 ■ 無 ベンチャーク区分 ランク CO。削減率(前年度) 表 は 「				重点対策		その他対策
組織体制の整備 H A ルギー等の 使用状況の把握 運用対策 設備保守対策 設備保守対策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内 E104 照明点灯範囲の細分化 表積年度の目標達成の状況 日標値等の有無 □ 有 ■ 無 ベンチャーク区分 ランク CO。削減率(前年度) 表 は 「			対策番号	対策名	対策番号	対策名
正 ネルギー等の 東用 状況の把握 運 用 対 策 設備保守対策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内 設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 表緒年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ○ンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比) 日標値等(選択) CO₂排出量(緑珠面積当たり) 表房-CO₂/m² CO₂排出量(緑量) その他 特記事項に内容を記載			A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
正 ネルギー等の 東用 状 況 の 把 握 選 用 対 策 設 備 保 守 対 策 と	4日 4	※休制の敷備				
正 ネルギー等の 使用 状 況 の 把 握 運 用 対 策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内 設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 医 提出年度の 目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比) との他 特記事項に内容を記載	м п. /	成件III V 正 III				
選用 対策 選用 対策 設備保守対策 設備導入対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内 設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 表練年度の目標達成の状況 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無						
運用 対策 選用 対策 設備保守対策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内) E104 照明点灯範囲の細分化 設備導入対策 と前の主義 を表表の主義 を表表を表表の主義 を表表の主義 <td>т. :</td> <td>ネルギー等の</td> <td>B106</td> <td>過去のデータによる傾向の把握</td> <td></td> <td></td>	т. :	ネルギー等の	B106	過去のデータによる傾向の把握		
省 エネルルギー 対策	吏	用状況の把握				
省 エネルルギー 対策		Г				
省 エネルルギー 対策						
省 エネルルギー 対策						
省 エネルルギー 対策						
省 エネルルギー 対策		運 用 対 策				
正 ネ ネ カル	415					
ネルギー 対策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内 設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 E104 照明点灯範囲の細分化						
ま						
設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内 設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 E104 照明点灯範囲の細分化 E104 に関点灯範囲の細分化 E105 提出年度の世球温暖化対策の目標						
策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内 設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 E104 照明点灯範囲の細分化 E104 に関点が範囲の細分化 E105 単光灯へ電子安定器採用(屋内 で						
E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内 設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 上記	対	製 備 促 字 景 等				
設備導入対策 正記4 照明点灯範囲の細分化 表演年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 提出年度の地球温暖化対策の目標 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比) CO₂排出量(延床面積当たり) kg-CO₂/m² CO₂排出量(総量) その他 特記事項に内容を記載	朿	以順体引列來				
設備導入対策 正記4 照明点灯範囲の細分化 表演年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 提出年度の地球温暖化対策の目標 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比) CO₂排出量(延床面積当たり) kg-CO₂/m² CO₂排出量(総量) その他 特記事項に内容を記載						
設備導入対策 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標			E103	高効率照明器具の採用(屋内)		蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比) CO₂排出量(延床面積当たり) kg-CO₂/m² CO₂排出量(総量) その他 特記事項に内容を記載		 設備導入対策			E104	照明点灯範囲の細分化
5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比) CO₂排出量(延床面積当たり) kg-CO₂/m² CO₂排出量(総量) その他 特記事項に内容を記載						
5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比) CO₂排出量(延床面積当たり) kg-CO₂/m² CO₂排出量(総量) その他 特記事項に内容を記載						
目標の有無□ 有 無 □ 有 無 無 無	起網	責年度の目標達成	の状況	□目標達成した。		
目標の有無□ 有 無 □ 有 無 無 無						
ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO₂排出量(延床面積当たり) kg-CO₂/m² CO₂排出量(総量) その他 特記事項に内容を記載						
目標値等(選択) CO₂排出量(延床面積当たり) kg-CO₂/m² CO₂排出量(総量) その他 特記事項に内容を記載	_	標の有無				NATO NATA
その他特記事項に内容を記載						
	目根	票値等(選択)				2排出量(総量) t
3. 特記事項			その他	特記事項に内容	を記載	
5、特記事項						
, WILL 1.8	•	特記事項				
)					
)					
)					
)					
	0					
)					
)					
)					
)					

1	事業所等の概要
1	T * 171 + 171 M * 5

事	: ¥	岸 月	斤等	争 0) 名	称	新馬	馬場	駅前	京京	急ビ	ル															
事		業	戸	f	番	号	А	0	6	3	2	_	0	0	1	1											
			***		<i>1</i>		Ŧ	1	4	0	_	0	0	0	1	区	ή.	町	村:	名	東京	都占		<u> </u>			
事	・業	医所	等	の	所 在	地	町 : 以	名 番	F 地 下	北品	Ы112	-18	-1														
事	業	所	等の) 延	床面	ī積		2	,505	.41	m^2	事	業	「等 レキ	の :	実 ; · 使	績	年 用 :		の 間		1年	度分	,		1年	未満
所		丰	Ī	Э	多	態		自己	引所で	有] 他	1者原	析有													
報		<i></i>	÷	爭	É	囲		建物	カの全	全部] 建	物の)— [₽]	郭(ラ	ーナ	ン	ト)			建	物	カー	部(その)他))
共口	生:	<i>左</i> 左 F	田の	→ -	5-7-11	1 冷		事務	鲚					商業	(施	没(!	物	販)			商	業	施設	(飲	(食)		
羊区		車口口	出 ひき	土./	とる月	1)		工場	및					複合	施	没					そ	の作	也				
	お	け	る組	分	業 分 類 番	号	6	9	1	1		鍾俏	比事業	業区 ₂	分] j	直営	·店				盟店				該当
再の	生	i 可 利	能ニ		ルキ 状	· 况				ピエネ すの設				再生気の			ネノ	レギ・	一電			証書の利	틀によ 引用	こる野	環境	価値	•
前 か			の の	報 変	告 内 更	容点																					

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=⑩×0.0258)	(I)	70	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2	137	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	3	2	t
	総計(④=②+③)	4	139	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5	54.6	$kg-CO_2/m^2$

	燃料等の	· <u>山 玉 守 </u>	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	排出	炭素排出量 排出量 ^{※1}
	<i>//</i>	,	使用	, ,	6	7	®=(⑥/1000)×⑦	係数 ^⑨	(t) @=8×9×44/12
.464.	都市ガス			Nm^3	13,163.9	45.00	592.4	0.0136	29.5
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
<i>**</i> ***	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
^(その他の買電(昼夜	。 間不明の場合を含む。)		kWh	220,498.0	9.76	2,152.1	0.4890	107.8
規貝	第5条の17第3項	(の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 2,744.4		137.4
その	水道及び工業	用水道		m^3	3,470.0	/		0.2660	0.9
他	公共下水道			m ³	3,470.0	/		0.4000	1.4
		合 計							2.3

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

組織体制の整備 B106 過去のデータによる傾向の把握 エネルギー等の使用状況の把握 B107 主要設備の使用状況の把握 運用対策 設備保守対策 設備保守対策	
田 織 体 制 の 整 備 エネルギー等 の 更 用 状 況 の 把 握 選 用 対 策 省エネルルギー 対策 設備保守対策 設備保守対策 と 1	A402 使用量の推計に必要な情報の提供
B106	
B106	
エネルギー等の 使用状況の把握 1 運用対策 運用対策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) 設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 支援年度の目標達成の状況 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標	
エネルギー等の 使用状況の把握 B107 主要設備の使用状況の把握 運用対策 資金 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採) 設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 支援年度の目標達成の状況 日標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標	
使用状況の把握	
省エネルギー対策 設備保守対策	
省エネルギー対策 設備保守対策	
省 エネルギー 対策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採) 設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標	
省エネルギー対策 設備保守対策	
省エネルギー 対策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採) 設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 E104 照明点灯範囲の細分化 原明点灯範囲の細分化 日標達成した。	
省エネルギー 対策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採) 設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 E104 照明点灯範囲の細分化 原明点灯範囲の細分化 日標達成した。	
正 ネルギー 対策	
ネルギー対策 設備保守対策	
まず まで ままま ままま ままま ままま ままま まままま ままま まままま まままま まままま	
設備保守対策	
策 設備保守対策	
設備導入対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採り 度104 照明点灯範囲の細分化 上104 照明点灯範囲の細分化 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標	
設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標	
設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標	
設備導入対策 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標	
実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標	E104 照明点灯範囲の細分化
5 提出年度の地球温暖化対策の目標	
5 提出年度の地球温暖化対策の目標	
	a a Well North
ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比)	
目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)	
その他特記事項に内容を記載	<u></u>
3 特記事項	

4	古光	二二大大	の概要
	1 事業	HT 폭	(/) 相先 學

事	業月	斤 等	の名	称	京急	交息	通事	務	折															
事	業	所	番	号	А	0	6	3	2	_	0	0	1	2										
					₹	1	4	0	1	0	0	1	1	区	市	町	村:	名	東京都	都品川	区			
事	業所	等の	所 在	E 地	町。以	名番	争 地 下	東大	:井1	-21	-13	3												
事	業所	等の	延床面	百積			318	.95	m^2	事	業 ア ネ <i>バ</i>	「等 レギ	の : 	実 á 使	漬	年 則		の間	1	年度生	分		1年	未満
所	7	Ī	形	態		自己	引所で	有		〕他	1者原	折有												
報	<i>-</i>	<u> </u>	範	囲		建物	物の含	全部		〕建	物の)— [₽]	郭(ラ	ナ	ント	、)] 建	物の-	一部	(その	の他)
報	告範目	囲の主	とたる月	月途		事彩						商業			勿見	灰)				業施記	殳(食	欠食))	
	_L land	<i>>/</i> ++ ¬	ر الله الم	Ner:	Ш	工場	<u>ज</u> ं				Ш	複合	1他					L	」 そ(の他				
	おけ	る細っ	産業分 分類都	肾号	6	9	1	1	連	鎖化	(事業	業区?	分		IJ	直営	店			加盟尼	ij		非	該当
再の	生可	能 エ 用	ネル ^は 状	ギー 況			三可能 記設備		ルギ :置	_		再生 気の			ネル	/ギ-	一電			証書に の利用		環境	価値	Ĺ
前か			设告 内 変 更	容点																				

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	24	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 46	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	3 2	t
	総計(④=②+③)	^④ 48	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当た りの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 144.2	$kg-CO_2/m^2$

Γ		- 川 玉 丑 ^ / / / 1 lb						一元紀	炭素排出量
	燃料等の	種別	推計の特別	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	排出係数	族系拼出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	Ī	® =(6 /1000)× 7	9	(0)=(8)×(9)×44/12
.164.	都市ガス			Nm^3	3,759.3	45.00	169.2	0.0136	8.4
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
7773	その他()				0.0				
	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
^(その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	78,283.0	9.76	764.0	0.4890	38.3
規則	第5条の17第3項	(の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					933.2		46.7
その	水道及び工業	用水道		m^3	3,269.0			0.2660	0.9
他	公共下水道			m^3	3,269.0	/		0.4000	1.3
	·	合 計							⁽¹⁶⁾ 2.2

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比)				重点対策			その他対策
田織体制の整備			対策番号	対分		対策番号	対策名
正ネルギー等の 使用状況の把握 B103 時間的に詳細に把握 過去のデータによる傾向の把握 運用対策 設備保守対策 設備保守対策 設備導入対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋 展明点灯範囲の細分化 上級年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比)			A404	テナントへの温暖を	上対策協力依頼		
正ネルギー等の 使用状況の把握 B103 時間的に詳細に把握 過去のデータによる傾向の把握 運用対策 設備保守対策 設備保守対策 設備導入対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋 展明点灯範囲の細分化 上級年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比)	は 繊 体 制 の	整 備					
正 ネルギー等の 使用 状 況 の 把 握 選上 用 対 策 設備 保 守 対策 設備 保 守 対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋 設備 導入 対策 E104 照明点灯範囲の細分化 表徴年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比)	- 1174 11 1174	VIII					
正 ネルギー等の 使用 状 況 の 把 握 選 用 対 策 選 用 対 策 設 備 保 守 対 策 設 備 保 守 対 策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋 設 備 導 入 対 策 E104 照明点灯範囲の細分化 基 提出年度の 目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO。削減率(前年度比)			D100	n+ 88 44) - 30 4m) - (c	, LD		
選用対策 選用対策 設備保守対策 設備導入対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋 限明点灯範囲の細分化 と104 照明点灯範囲の細分化 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□有■無 ベンチマーク区分 ランク CO。削減率(倫牛度比)	ニネルギー	等の					
省エネルルギー 対策	見用状況の	把 握	B100		の傾向の危煙		
省 エネルルギー 対策							
省 エネルルギー 対策							
省 エ ネ ネ ル デ							
省 エ ネ ネ ル デ							
正 ネ ネ ル ギ	運用対	策					
ネルギー 対策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋 照明点灯範囲の細分化 Ei04 照明点灯範囲の細分化 Ei04 照明点灯範囲の細分化 Ei04 原明点灯範囲の細分化 Ei04 原明点灯範囲の細分化 Ei05 提出年度の地球温暖化対策の目標							
ルギー 対策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋 設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 E104 照明点灯範囲の細分化 E105 提出年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比)							
対策 設備保守対策	レ						
設備保守対策							
E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋 E104 照明点灯範囲の細分化 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標目標の有無 両有 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比)	· 付						
設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 Eiff	新 設備保守	対策					
設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 Eiff							
設備導入対策 - 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 - 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□有■無 - ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比)			E103	高効率照明器具0)採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比)	設備導入	対策				E104	照明点灯範囲の細分化
5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 (こ) (本) (本) (本) (本) (立) (元) (元) (元) (元) (元) (元) (元) (元) (元) (元						-	
5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 (ベンチマーク区分 ランク (CO₂削減率(前年度比)							
目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無		票達成	の状況	□ 目標達成し	た。		
目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無		- 11 1	NP = 5 # 1	htt	 ,		
ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比)	提出年度のま) 地球 = 無	温暖化系	東の目標			
	1 保 7 年	37%	□ 相	カダ分	ラック	Ico	削減率(前年度比)
コ	目標値等(選択	,					排出量(総量) t
目標値等(選択) CO2排出量(延床面積当たり) kg-CO2/m² CO2排出量(総量) その他 特記事項に内容を記載	11 际 但 寸 (医)八	.)					7万十二里(松里)
が心ず気に打住を心戦			-C 07/IE	าบ	山事項(こ)1合と	pL 単义	

1	事業所等の概要
1	ず木川 サツル女

その2

	- / / - / /																							
事	業所	等	の名	称	鮫》	州高	架下	店	iiA															
事	業	所	番	号	А	0	6	3	2		0	0	1	3										
					=	1	4	0		0	0	1	1	区	市	町	村	名	東京都	都品川	区			
事	業所	等の	所 在	地	町夕以	名番	F 地 下	東大	:井1	-2-	-20													
事	業所等	等の3	延床面	ī積			257	.43	m^2		業 所ネル							の間	1	年度	分] 1	年未満
所	有		形	態		自己	引がる	有] 他	1者所	有												
報	告		範	囲		建物	すの全	全部		〕建	物の)— ^È	郭(ラ	ーナン	ント	.)] 建	物の-	一部	ડ(સ	<u>-</u> の(也)
土口	<i>什 松</i> 區	1 m -	- ナ- フロ			事務	所					商業	き施 に	没(4	物則	反)			商	業施	設(£	飲食	£)	
羊权	告範囲	100 ±	こにつ用	力述		工場	<u>コ</u> ガ					複合	施	没] そ(の他				
に	本 標 おける	5細く	分類番	号	6	9	1	1	連	鍾徂	(事業	美区 2	分		Ī	宜営	·店			加盟/	吉		■ 3	非該当
再の	生可能	能工. 用	ネルキ <u>状</u>	· 況			:可能 記設備		ルギ と置	_		再生 気の			ネル	ギ・	一電	Ĺ		証書に の利用		環境	竟価	i値
前 か	年度ら			容点																				

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=⑩×0.0258)	94	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2 182	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	3 1	t
	総計(④=②+③)	⁽⁴⁾ 183	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 706.9	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の	種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	排出	炭素排出量 排出量 ^{※1}
			使用		6	7	® =(⑥ /1000)×⑦	係数 ^⑨	(t) @=8×9×44/12
.464.	都市ガス			Nm^3	15,264.4	45.00	686.9	0.0136	34.3
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
100	その他()				0.0				
	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
<i>></i> \\	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	303,472.0	9.76	2,961.9	0.4890	148.4
規貝	第5条の17第3項	真の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 3,648.8		¹⁵ 182.7
その	水道及び工業	用水道		m^3	2,099.0			0.2660	0.6
他	公共下水道			m^3	2,099.0			0.4000	0.8
		合 計							1.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比)				重点対策			その他対策
田織体制の整備			対策番号	対分		対策番号	対策名
正ネルギー等の 使用状況の把握 B103 時間的に詳細に把握 過去のデータによる傾向の把握 運用対策 設備保守対策 設備保守対策 設備導入対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋 展明点灯範囲の細分化 上級年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比)			A404	テナントへの温暖を	上対策協力依頼		
正ネルギー等の 使用状況の把握 B103 時間的に詳細に把握 過去のデータによる傾向の把握 運用対策 設備保守対策 設備保守対策 設備導入対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋 展明点灯範囲の細分化 上級年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比)	は 繊 体 制 の	整 備					
正 ネルギー等の 使用 状 況 の 把 握 選上 用 対 策 設備 保 守 対策 設備 保 守 対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋 設備 導入 対策 E104 照明点灯範囲の細分化 表徴年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比)	- 1174 11 1174	VIII					
正 ネルギー等の 使用 状 況 の 把 握 選 用 対 策 選 用 対 策 設 備 保 守 対 策 設 備 保 守 対 策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋 設 備 導 入 対 策 E104 照明点灯範囲の細分化 基 提出年度の 目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO。削減率(前年度比)			D100	n+ 88 44) - 30 4m) - (c	, LD		
選用対策 選用対策 設備保守対策 設備導入対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋 限明点灯範囲の細分化 と104 照明点灯範囲の細分化 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□有■無 ベンチマーク区分 ランク CO。削減率(倫牛度比)	ニネルギー	等の					
省エネルルギー 対策	見用状況の	把 握	B100		の傾向の危煙		
省 エネルルギー 対策							
省 エネルルギー 対策							
省 エ ネ ネ ル デ							
省 エ ネ ネ ル デ							
正 ネ ネ ル ギ	運用対	策					
ネルギー 対策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋 照明点灯範囲の細分化 Ei04 照明点灯範囲の細分化 Ei04 照明点灯範囲の細分化 Ei04 原明点灯範囲の細分化 Ei04 原明点灯範囲の細分化 Ei05 提出年度の地球温暖化対策の目標							
ルギー 対策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋 設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 E104 照明点灯範囲の細分化 E105 提出年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比)							
対策 設備保守対策	レ						
設備保守対策							
E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋 E104 照明点灯範囲の細分化 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標目標の有無 両有 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比)	· 付						
設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 Eiff	新 設備保守	対策					
設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 Eiff							
設備導入対策 - 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 - 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□有■無 - ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比)			E103	高効率照明器具0)採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比)	設備導入	対策				E104	照明点灯範囲の細分化
5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 (こ) (本) (本) (本) (本) (立) (元) (元) (元) (元) (元) (元) (元) (元) (元) (元						-	
5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 (ベンチマーク区分 ランク (CO₂削減率(前年度比)							
目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無		票達成	の状況	□ 目標達成し	た。		
目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無		- 11 1	NP = 5 # 1	htt - → ==	 ,		
ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比)	提出年度のま) 地球 = 無	温暖化系	東の目標			
	1 保 7 年	37%	□ 相	カダ分	ラック	Ico	削減率(前年度比)
コ	目標値等(選択	,					排出量(総量) t
目標値等(選択) CO2排出量(延床面積当たり) kg-CO2/m² CO2排出量(総量) その他 特記事項に内容を記載	11 际 但 寸 (医)八	.)					7万十二里(松里)
が心ず気に打住を心戦			-C 07/IE	าบ	山事項(こ)1合と	pL 単义	

1 事業所等の概要

事	業月	斤 等	の名	称	鮫》	州高	架下	店	iiB															
事	業	所	番	号	А	0	6	3	2		0	0	1	4										
					₹	1	4	0		0	0	1	1	区	市	町	村:	名]	東京	都品厂	三三			
事	業所	等の	所在	: 地	町。以	名番	F 地 下	東大	:井1	-2-	-20													
事	業所	等の	延床面	面積			296	.34	m^2	事	業	「等 レギ	の - -	実 <i>終</i> ・ 使	績 [丿	年 刊 :		の 間		1年度	分] 1	年未満
所	7	Ī	形	態		自己	りが	育] 他	1者月	折有												
報	<i>-</i>	E.	範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)— [₽]	郭(ラ	ーナン	ント	\)			〕建	物の	一部	ડ(સ	<u>-</u> のf	也)
去口	生 銘 [田のう	Eたる月	日之		事務	鲚					商業	(施	没 (非	刎	坂)			商	業施	設(的	飲食	£)	
干区	口甲山	田 マクヨ	ピルのカ	17 区		工場] ガ					複合	施	没					こそ	の他				
	おけ	る細っ	産業分類	争号	6	9	1	1	連	鎮化	と事業	業区2	分		Ī	直営	.店			加盟	店		■ ∌	丰該当
再の	生可	能 エ 用	ネルキ 状	デー 況			:可能 記設備		ルギ :置	_		再生 気の			ネル	ノギ・	一電			証書(の利)		環場	竟価	値
前か			设告内 変 更	容点																				

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=⑩×0.0258)	(1)	63	kl
1	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	123	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	3	1	t
	総計(④=②+③)	4	124	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当た りの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5	415.0	$kg-CO_2/m^2$

	燃料等の	· 祖 别	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	排出	炭素排出量 排出量 ^{※1}
)3W.1 1 .7	127,01	使用	1 14	6	7	(3) 8=(⑥/1000)×⑦	係数 ^⑨	(t) @=8×9×44/12
.464.	都市ガス			Nm^3	10,060.0	45.00	452.7	0.0136	22.6
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
<i>**</i> ***	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
^(その他の買電(昼夜	。 間不明の場合を含む。)		kWh	205,958.0	9.76	2,010.2	0.4890	100.7
規貝	第5条の17第3項	(の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 2,462.8		123.3
その	水道及び工業	用水道		m^3	2,135.0	/		0.2660	0.6
他	公共下水道			m^3	2,135.0	/		0.4000	0.9
		合 計							1.4

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比)				重点対策			その他対策
田織体制の整備			対策番号	対分		対策番号	対策名
正ネルギー等の 使用状況の把握 B103 時間的に詳細に把握 過去のデータによる傾向の把握 運用対策 設備保守対策 設備保守対策 設備導入対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋 展明点灯範囲の細分化 上級年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比)			A404	テナントへの温暖を	上対策協力依頼		
正ネルギー等の 使用状況の把握 B103 時間的に詳細に把握 過去のデータによる傾向の把握 運用対策 設備保守対策 設備保守対策 設備導入対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋 展明点灯範囲の細分化 上級年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比)	は 繊 体 制 の	整 備					
正 ネルギー等の 使用 状 況 の 把 握 選上 用 対 策 設備 保 守 対策 設備 保 守 対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋 設備 導入 対策 E104 照明点灯範囲の細分化 表徴年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比)	- 1174 11 1174	VIII					
正 ネルギー等の 使用 状 況 の 把 握 選 用 対 策 選 用 対 策 設 備 保 守 対 策 設 備 保 守 対 策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋 設 備 導 入 対 策 E104 照明点灯範囲の細分化 基 提出年度の 目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO。削減率(前年度比)			D100	n+ 88 44) - 30 4m) - (c	, LD		
選用対策 選用対策 設備保守対策 設備導入対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋 限明点灯範囲の細分化 と104 照明点灯範囲の細分化 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□有■無 ベンチマーク区分 ランク CO。削減率(倫牛度比)	ニネルギー	等の					
省エネルルギー 対策	見用状況の	把 握	B100		の傾向の危煙		
省 エネルルギー 対策							
省 エネルルギー 対策							
省 エ ネ ネ ル デ							
省 エ ネ ネ ル デ							
正 ネ ネ ル ギ	運用対	策					
ネルギー 対策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋 照明点灯範囲の細分化 Ei04 照明点灯範囲の細分化 Ei04 照明点灯範囲の細分化 Ei04 原明点灯範囲の細分化 Ei04 原明点灯範囲の細分化 Ei05 提出年度の地球温暖化対策の目標							
ルギー 対策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋 設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 E104 照明点灯範囲の細分化 E105 提出年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比)							
対策 設備保守対策	レ						
設備保守対策							
E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋 E104 照明点灯範囲の細分化 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標目標の有無 両有 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比)	· 付						
設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 Eiff	新 設備保守	対策					
設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 Eiff							
設備導入対策 - 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 - 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□有■無 - ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比)			E103	高効率照明器具0)採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比)	設備導入	対策				E104	照明点灯範囲の細分化
5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 (こ) (本) (本) (本) (本) (立) (元) (元) (元) (元) (元) (元) (元) (元) (元) (元						-	
5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 (ベンチマーク区分 ランク (CO₂削減率(前年度比)							
目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無		票達成	の状況	□ 目標達成し	た。		
目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無		- 11 1	NP = 5 # 1	htt - → ==	 ,		
ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比)	提出年度のま) 地球 = 無	温暖化系	東の目標			
	1 保 7 年	- XX	□ 相	カダ分	ラック	Ico	削減率(前年度比)
コ	目標値等(選択	,					排出量(総量) t
目標値等(選択) CO2排出量(延床面積当たり) kg-CO2/m² CO2排出量(総量) その他 特記事項に内容を記載	11 际 但 寸 (医)八	.)					7万十二里(松里)
が心ず気に打住を心戦			-C 07/IE	าบ	山事項(こ)1合と	pL 単义	

1	事業所等の概要
1	T * 171 + 171 M * 5

事業所等の名称	南大井高架下第1店舗
事 業 所 番 号	A 0 6 3 2 — 0 0 1 5
	〒 1 4 0 - 0 0 1 3 区市町村名 東京都品川区
事業所等の所在地	町 名 番 地 以
事業所等の延床面積	120.54 m ² 事業所等の実績年度の エネルギー使用期間 ■ 1年度分 □ 1年未満
所 有 形態	■ 自己所有 □ 他者所有
報 告 範 囲	■ 建物の全部 □ 建物の一部(テナント) □ 建物の一部(その他)
却生然田の主たて田冷	■ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲食)
報告範囲の主たる用途	□ 工場 □ 複合施設 □ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1 単興化事業区分 □ 直宮店 □ 加盟店 ■ 非該当
再生可能エネルギー の 利 用 状 況	□ 再生可能エネルギー □ 再生可能エネルギー電 □ 証書による環境価値 発電設備の設置 □ 気の受入 □ の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	4	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 8	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	t
	総計(④=②+③)	4 8	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当た りの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	66.3	$kg-CO_2/m^2$

	燃料等の	種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	排出	炭素排出量 排出量 ^{※1}
			使用		6	7	® =(6 /1000)× 7	係数 ^⑨	(t) @=8×9×44/12
464.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
7711	その他()				0.0				
	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
~	その他の買電(昼夜	- 間不明の場合を含む。)		kWh	18,071.0	9.76	176.4	0.4890	8.8
規貝	第5条の17第3項	(の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 176.4		8.8
その	水道及び工業	用水道		m ³	632.0			0.2660	0.2
他	公共下水道			m^3	632.0			0.4000	0.3
		合 計							0.4

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

正 ネ ネ カ カ 策		地球温暖化対策		重点対策		その他対策
田 織 体 制 の 整 備 エネルギー等の 使用 状 況 の 把 握 選 用 対 策 設 備 保 守 対 策 設 備 保 守 対 策 設 備 保 守 対 策 と 103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内) 設 備 導 入 対 策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E104 照明点灯範囲の細分化 ま 接 年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖 化対 策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 マンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比) 目標値等 (選択) CO₂排出量 (銀床面積当たり) た 場 CO₂排出量 (総最) で での。 特記事項に内容を記載			対策番号	対策名	対策番号	対策名
正 ネルギー等の 更用 状況の把握 選 用 対 策			A404	テナントへの温暖化対策協力依頼		
正 ネルギー等の 更用 状況の把握 選 用 対 策	紀日 幺	** 休 **! の 敷 借				
正 ネルギー等の 使用 状 況 の 把 握 選 用 対 策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内) 設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 表積年度の目標達成の状況 目標を使の地球温暖化対策の目標 目標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(飾年度比) その他 特記事項に内容を記載	P.D. /N	以 中 町 シュ 歪 畑				
正 ネルギー等の 使用 状 況 の 把 握 選 用 対 策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内) 設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 表積年度の目標達成の状況 目標を使の地球温暖化対策の目標 目標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(飾年度比) その他 特記事項に内容を記載						
選用 対策		ラッギ 然の	B106	過去のデータによる傾向の把握		
選用対策						
者 エネルルギー 対策		72 72				
者 エネルルギー 対策						
者 エネルルギー 対策						
者 エネルルギー 対策						
者 エネルルギー 対策						
正 ネ ネ カ カ 策		運用対策				
正 ネ ネ カ カ 策	省					
ルギー 対策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内) 設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 E104 照明点灯範囲の細分化 E104 により には、	エ					
ぎ 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内) E104 照明点灯範囲の細分化 E104 照明点灯範囲の細分化 E104 照明点灯範囲の細分化 E104 照明点灯範囲の細分化 E105 提出年度の地球温暖化対策の目標 標の有無 □ 有 ■ 無 ボンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比) での2排出量(延床而積当たり) kg-CO₂/m² CO₂排出量(総量) での他 特記事項に内容を記載 E105 対策の目標 E106 円式 E107 円式 E108 円式 E109 円式 E						
対策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内) 設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 E104 照明点灯範囲の細分化 E104 照明点灯範囲の細分化 E104 照明点灯範囲の細分化 E106 点提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□ 有 無 無	ギ					
策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内) 設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 E104 照明点灯範囲の細分化 E104 照明点灯範囲の細分化 E106 照明点灯範囲の細分化 E107						
E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内) E104 照明点灯範囲の細分化 E104 照明点灯කーム E104 に対しまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	对 第	設備保守対策				
設備導入対策	/K	12 - 110 - 11 - 1 - 1 - 1				
設備導入対策						
設備導入対策 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標			E103	高効率照明器具の採用(屋内)		
実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO2削減率(前年度比) で CO2排出量(延床而積当たり) kg-CO2/m² CO2排出量(総量) での他 特記事項に内容を記載		設備導入対策			E104	照明点灯範囲の細分化
5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分						
5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分						
5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分	実絹	青年度の目標達成	 の状況	□ 目標達成した。		
目標の有無□ 有 ■ 無						
マンチマーク区分 ランク CO2削減率(前年度比) 9 日標値等(選択) CO2排出量(延床面積当たり) kg-CO2/m² CO2排出量(総量) t その他 特記事項に内容を記載	5 3					
目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床而積当たり) kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量) t その他 特記事項に内容を記載			\Box \pm	III 無		
その他特記事項に内容を記載		標の有無				META N. C.
		標 の 有 無		ク区分ランク		
5 特記事項	<u> </u>		ベンチマー	ク区分ランク		
5 特記事項			ベンチマー CO ₂ 排出量	ク区分 ランク (延床面積当たり) kg-C	$\mathrm{CO_2/m^2}$ $\mathrm{CO_2}$	
			ベンチマー CO ₂ 排出量	ク区分 ランク (延床面積当たり) kg-C	$\mathrm{CO_2/m^2}$ $\mathrm{CO_2}$	
	目標	原値等(選択)	ベンチマー CO ₂ 排出量	ク区分 ランク (延床面積当たり) kg-C	$\mathrm{CO_2/m^2}$ $\mathrm{CO_2}$	
	目標	原値等(選択)	ベンチマー CO ₂ 排出量	ク区分 ランク (延床面積当たり) kg-C	$\mathrm{CO_2/m^2}$ $\mathrm{CO_2}$	
	目標	原値等(選択)	ベンチマー CO ₂ 排出量	ク区分 ランク (延床面積当たり) kg-C	$\mathrm{CO_2/m^2}$ $\mathrm{CO_2}$	
	目標	原値等(選択)	ベンチマー CO ₂ 排出量	ク区分 ランク (延床面積当たり) kg-C	$\mathrm{CO_2/m^2}$ $\mathrm{CO_2}$	
	目標	原値等(選択)	ベンチマー CO ₂ 排出量	ク区分 ランク (延床面積当たり) kg-C	$\mathrm{CO_2/m^2}$ $\mathrm{CO_2}$	
	目標	原値等(選択)	ベンチマー CO ₂ 排出量	ク区分 ランク (延床面積当たり) kg-C	$\mathrm{CO_2/m^2}$ $\mathrm{CO_2}$	
	目標	原値等(選択)	ベンチマー CO ₂ 排出量	ク区分 ランク (延床面積当たり) kg-C	$\mathrm{CO_2/m^2}$ $\mathrm{CO_2}$	
	目標	原値等(選択)	ベンチマー CO ₂ 排出量	ク区分 ランク (延床面積当たり) kg-C	$\mathrm{CO_2/m^2}$ $\mathrm{CO_2}$	
	目標	原値等(選択)	ベンチマー CO ₂ 排出量	ク区分 ランク (延床面積当たり) kg-C	$\mathrm{CO_2/m^2}$ $\mathrm{CO_2}$	
	目標	原値等(選択)	ベンチマー CO ₂ 排出量	ク区分 ランク (延床面積当たり) kg-C	$\mathrm{CO_2/m^2}$ $\mathrm{CO_2}$	

1 事業所等の概要

その2

= 1.7K//1 11 12 1902	
事業所等の名称	南大井高架下第2店舗
事業所番号	A 0 6 3 2 — 0 0 1 6
	〒 1 4 0 - 0 0 1 3 区市町村名 東京都品川区
事業所等の所在地	以 下間分析3 32 1
事業所等の延床面積	99.41 m ² 事業所等の実績年度の ■ 1年度分 □ 1年未満
所 有 形態	■ 自己所有 □ 他者所有
報 告 範 囲	■ 建物の全部 □ 建物の一部(テナント) □ 建物の一部(その他)
却上然回の子もフロン	□ 事務所 □ 商業施設(物販) ■ 商業施設(飲食)
報告範囲の主たる用途	□ 工場 □ 複合施設 □ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1 連鎖化事業区分 □ 直営店 □ 加盟店 ■ 非該当
再生可能エネルギー の 利 用 状 況	□ 再生可能エネルギー □ 再生可能エネルギー電 □ 証書による環境価値 発電設備の設置 □ 気の受入 □ の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=⑩×0.0258)	(1)	23	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	45	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	3	1	t
	総計(④=②+③)	4	46	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	6	452.6	$kg-CO_2/m^2$

	燃料等の	· <u>西里守沙门</u> ·種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1}
			使用		6	7	® =(⑥/1000)×⑦	(水) (9)	(t) =8×9×44/12
.161.	都市ガス			Nm^3	2,397.3	45.00	107.9	0.0136	5.4
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
2017	その他()				0.0				
	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	81,408.0	9.76	794.5	0.4890	39.8
規則	第5条の17第3項	可場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					902.4		45.2
その	水道及び工業	用水道		m^3	1,717.0			0.2660	0.5
他	公共下水道			m^3	1,717.0	/		0.4000	0.7
		合 計							1.1

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比)				重点対策			その他対策
田織体制の整備			対策番号	対分		対策番号	対策名
正ネルギー等の 使用状況の把握 B103 時間的に詳細に把握 過去のデータによる傾向の把握 運用対策 設備保守対策 設備保守対策 設備導入対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋 展明点灯範囲の細分化 上級年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比)			A404	テナントへの温暖を	上対策協力依頼		
正ネルギー等の 使用状況の把握 B103 時間的に詳細に把握 過去のデータによる傾向の把握 運用対策 設備保守対策 設備保守対策 設備導入対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋 展明点灯範囲の細分化 上級年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比)	は 繊 体 制 の	整 備					
正 ネルギー等の 使用 状 況 の 把 握 選上 用 対 策 設備 保 守 対策 設備 保 守 対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋 設備 導入 対策 E104 照明点灯範囲の細分化 表徴年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比)	- 1174 11 1174	VIII					
正 ネルギー等の 使用 状 況 の 把 握 選 用 対 策 選 用 対 策 設 備 保 守 対 策 設 備 保 守 対 策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋 設 備 導 入 対 策 E104 照明点灯範囲の細分化 基 提出年度の 目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO。削減率(前年度比)			D100	n+ 88 44) - 30 4m) - (c	, LD		
選用対策 選用対策 設備保守対策 設備導入対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋 限明点灯範囲の細分化 と104 照明点灯範囲の細分化 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□有■無 ベンチマーク区分 ランク CO。削減率(倫牛度比)	ニネルギー	等の					
省エネルルギー 対策	見用状況の	把 握	B100		の傾向の危煙		
省 エネルルギー 対策							
省 エネルルギー 対策							
省 エ ネ ネ ル デ							
省 エ ネ ネ ル デ							
正 ネ ネ ル ギ	運用対	策					
ネルギー 対策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋 照明点灯範囲の細分化 Ei04 照明点灯範囲の細分化 Ei04 照明点灯範囲の細分化 Ei04 原明点灯範囲の細分化 Ei04 原明点灯範囲の細分化 Ei05 提出年度の地球温暖化対策の目標							
ルギー 対策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋 設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 E104 照明点灯範囲の細分化 E105 提出年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比)							
対策 設備保守対策	レ						
設備保守対策							
E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋 E104 照明点灯範囲の細分化 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標目標の有無 両有 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比)	· 付						
設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 Eiff	新 設備保守	対策					
設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 Eiff							
設備導入対策 - 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 - 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□有■無 - ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比)			E103	高効率照明器具0)採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比)	設備導入	対策				E104	照明点灯範囲の細分化
5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 (こ) (本) (本) (本) (本) (立) (元) (元) (元) (元) (元) (元) (元) (元) (元) (元						-	
5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 (ベンチマーク区分 ランク (CO₂削減率(前年度比)							
目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無		票達成	の状況	□ 目標達成し	た。		
目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無		- 11 1	NP 85 # 1	htt - → ==	 ,		
ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比)	提出年度のま) 地球 = 無	温暖化系	東の目標			
	1 保 7 年	37%	□ 相	カダ分	ラック	Ico	削減率(前年度比)
コ	目標値等(選択	,					排出量(総量) t
目標値等(選択) CO2排出量(延床面積当たり) kg-CO2/m² CO2排出量(総量) その他 特記事項に内容を記載	11 际 但 寸 (医)八	.)					7万十二里(松里)
が心ず気に打住を心戦			-C 07/IE	าบ	山事項(こ)1合と	pL 単义	

1 事業所等の概要

事	業月	斤 等	の名	称	大和	柒海,	岸駅	己前之	京急	ビル	·(E	Xイン	/)											
事	業	所	番	号	А	0	6	3	2		0	0	1	7										
					₹	1	4	0	1	0	0	1	3	区	市	町	村。	名身	東京都	8品川	区			
事	業所	等の	所 在	土地	町。以	名番	争 地 下	南人	:井3	-32	-1													
事	業所	等の	延床面	面積		1	,962	.00	m^2	事	業	「等 レギ	の - -	実 <i>終</i> 使	漬 [年 		か 間	1	年度為	分		1生	F未満
所	7	ī	形	態		自己	上所る	有] 他	1者月	斤有												
報	<i>-</i>	<u> </u>	範	囲		建物	物の含	全部		〕建	物の)— [₽]	郭(ラ	ーナン	ント	\)			建物	勿の一	一部	(そ	の他	ī)
去口	生 銘 [田のう	Eたる月	日次		事務	新					商業	(施	没(\$	刎	坂)			商	業施 診	殳(食	欠食)	
干区	口甲山	出マクヨ	ピルクア	17 /匹		工場	<u>コ</u> ガ					複合	施	没					その	つ他				
	おけ	る細っ	産業分類	≨ 号	6	9	1	1	連	鎮化	と事業	業区2	分		Ī	直営	店	[コカ	中盟店	i		非	該当
再の	生可	能 エ 用	ネルキ 状	デー 況				ピエネ すの設	ルギ :置	_		再生 気の			ネル	ノギー	一電			E書に O利用	よる	環境	価値	直
前か			设告内 変 更	容点																				

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=⑩×0.0258)	(1)	71	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2	138	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	3	3	t
	総計(④=②+③)	4	141	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	(5)	70.3	$kg-CO_2/m^2$

	燃料等の) 括別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出	炭素排出量 排出量 ^{※1}
		/1至力1	使用	平匹	6	7	(GJ) 8=(6/1000)×⑦	係数 ^⑨	(t) @=8×9×44/12
.1641.	都市ガス			Nm^3	13,718.8	45.00	617.3	0.0136	30.8
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
755	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
~(その他の買電(昼夜	。 間不明の場合を含む。)		kWh	219,469.0	9.76	2,142.0	0.4890	107.3
規則	第5条の17第3項	(の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					[®] 2,759.4		138.1
その	水道及び工業	用水道		m ³	4,744.0			0.2660	1.3
他	公共下水道			m^3	4,744.0	/		0.4000	1.9
		合 計							¹⁶ 3.2

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

			重点対策			その他対策
		対策番号	対策名		対策番号	対策名
		A404	テナントへの温暖化対策	協力依頼		
日台	織体制の整備					
 /						
r.	ネルギー等の	B106	過去のデータによる傾向			
吏 ,	用状況の把握	B107	主要設備の使用状況の打	当 <u>佐</u> —————		
_						
	運用対策					
省						
工						
ネル						
ギ						
<u>}</u>					-	
対策	設備保守対策					
					-	
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
		LIUU	11/30 11/1/11/11/11/11/11/11/11/11/11/11/11/1	<u></u>	E102	照明点灯範囲の細分化
	設備導入対策				1 2101	7110745
		II \ \=				
+ 4:		の状況	□ 目標達成した。			
実績	責年度の目標達成					
		えい はんしゅく はいない はいしゅう はいしゅう はいしゅう はいし はいし はいし はいし はい	策の目標			
5	提出年度の地球		策の目標 ■ 無			
5	提出年度の地球		無無	ランク	CO ₂	削減率(前年度比)
<u>5</u>	提出年度の地球	□ 有 べンチマー	無無			111.11.17
5 	提出年度の地球 標 の 有 無	□ 有 べンチマー	● 無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
<u> </u>	提出年度の地球 標 の 有 無	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	● 無 ク区分 (延床面積当たり)		O_2/m^2 CO_2	
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	● 無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
5 目 目標	提出年度の地球 標 の 有 無	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	● 無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
i	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	● 無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
5 	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	● 無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
5 	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	● 無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
5 目 目	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	● 無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
5 目 目	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	● 無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
5 目 目	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	● 無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
5 目 目標	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	● 無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
5 目 目標	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	● 無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	

1 事業所等の概要

	3. 71~7.	. 1 . 4	- 100	` .																	
事	業所	等	の名	称	青隼	勿横	丁賃	貸	ゴル	(東村	黄イ	ン他)								
事	業	所	番	号	А	0	6	3	2		0	0	1	8							
	ли, ¬ г	kek	r <i>-</i>	- Irl-	Ŧ	1	4	0		0	0	0	4	区	市町	· 村:	名東	京都品	引川区		
事	業所	等 0.) 所 召	E 地	町 : 以	名 番	* 地 下	南品	3 ال	-1-	-20										
事	業所等	等の タ	延床面	面積		6	,418	.17	m^2			「等 レギ			責 年 用		か 間	1年	度分		1年未満
所	有		形	態		自己	1所7] 他	1者月	f有									
報	告		範	囲		建物	すの全	产部		〕建	物の)—‡	邪(ラ	ーナン	ント)			建物の	の一音	ß(その	の他)
七口	告範囲	i on i	ーたスト	日次		事務	鲚					商業	き施言	没 (非	勿販)			商業加	施設(飲食)
平区	一 単凹 江	リックュ	:/~ <i>\\</i> /	17)还		工場] ガ					複合	施	没				その作	也		
	本 標 おける	細	分類看	肾 号	6	9	1	1	連	鍾徂	(事業	業区 2	分		直営	常店		〕加盟	盟店		非該当
再の	生可能 利	もエ 用	ネル ^は 状	ギー 況			:可能 記設備			_		再生 気の			ネルギ	一電		証 計 の 利	書による 引用	5環境	価値
前か	年度ら	の 執 り <i>多</i>		容点																	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=⑩×0.0258)	(1)	79	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	155	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	3	3	t
	総計(④=②+③)	4	158	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5	24.1	$kg-CO_2/m^2$

	701, = 201, 101	-四重社(2) 11/1	推計		使用量	係数	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	の 使用	単位	使用里	((GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			IX/11		6	7	®=(6/1000)×7	9	(0)=(8)×(9)×44/12
燃	都市ガス			Nm^3	9,984.6	45.00	449.3	0.0136	22.4
料料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
200	その他()				0.0				
	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	271,374.0	9.76	2,648.6	0.4890	132.7
規貝	第5条の17第3項	真の場合のみなし(直 ^{※2}	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					¹⁴ 3,097.9		¹⁵ 155.1
その	水道及び工業	用水道		m^3	5,493.0			0.2660	1.5
他	公共下水道			m^3	5,493.0	/		0.4000	2.2
		合 計							¹⁶ 3.7

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

			重点対策			その他対策
		対策番号	対策名		対策番号	対策名
		A404	テナントへの温暖化対策	協力依頼		
日台	織体制の整備					
 /						
r.	ネルギー等の	B106	過去のデータによる傾向			
吏 ,	用状況の把握	B107	主要設備の使用状況の打	当 <u>佐</u> —————		
_						
	運用対策					
省						
工						
ネル						
ギ						
<u>}</u>					-	
対策	設備保守対策					
					-	
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
		LIUU	11/30 11/1/11/11/11/11/11/11/11/11/11/11/11/1	<u></u>	E102	照明点灯範囲の細分化
	設備導入対策				1 2101	7110745
		II \ \=				
+ 4:		の状況	□ 目標達成した。			
実績	責年度の目標達成					
		えい はんしゅく はいない はいしゅう はいしゅう はいしゅう はいし はいし はいし はいし はい	策の目標			
5	提出年度の地球		策の目標 ■ 無			
5	提出年度の地球		無無	ランク	CO ₂	削減率(前年度比)
<u>5</u>	提出年度の地球	□ 有 べンチマー	無無			111.7.
5 	提出年度の地球 標 の 有 無	□ 有 べンチマー	● 無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
<u> </u>	提出年度の地球 標 の 有 無	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	● 無 ク区分 (延床面積当たり)		O_2/m^2 CO_2	
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	● 無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
5 目 目標	提出年度の地球 標 の 有 無	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
i	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
5 	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
5 	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
5 目 目	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
5 目 目	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
5 目 目	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
5 目 目標	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
5 目 目標	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	

1	事業所等の概要	
-	- 丁 /N// I リック 1900 久	

事	業	所	等	の名	称	青牛	勿横	丁駅	門前几	店舗															
事	3 11 /	業	所	番	号	А	0	6	3	2	_	0	0	1	9										
						Ŧ	1	4	0	_	0	0	0	4	区	市	町	村	名	東京	都品	川区	-		
事	業	所:	等 σ.	所在	:地	町夕以	名番	F 地 下	南品	』川3	-4-	-1													
事	業月	折等	きの)	延床面	面積		1	,754	.89	m^2	事	業 戸ネノ	r 等 レギ	の <u>:</u> 	実 <i>統</i> 使	績 : ,	年 刊 :		の間		1年	度分			1年未満
所		有		形	態		自己	りが	j		〕他	1者原	有												
報		告		範	囲		建物	カの全	产部		■ 建	物の)—‡	郭(ラ	ナ	ン	、)]	は物の	ひ一片	郭(-	その	他)
七口	生. 4	名 田	ρ i	こたる月	日之		事務	鲚					商業	(施)	没(4	物	坂)			〕薩	所業加	を設((飲:	食)	
干区	口隼	电团	V ノ ゴ	-1-0 <i>F</i>	17 705		工場] ガ					複合	施	没					〕そ	一の他	<u>1</u>			
	おり	ナる	細	重業分 分類番	多号	6	9	1	1	連	鎖化	(事業	業区 2	分		Ī	直営	店			加盟	显店			非該当
再の		可育 制	ミエ 用	ネルキ 状	デー 況			:可能 記設備		ルギ :置	_		再生 気の			ネノ	ノギ・	一電	Ĺ		証書の利	詩によ J用	る環	境值	H値
前か	年ら			是 告 内	容点																				

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	(1)	342	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	664	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	3	3	t
	総計(④=②+③)	4	667	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当た りの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	6	378.3	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の	種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1}
			使用		6	7	® =(⑥ /1000)× ⑦	(ボダ) ⑨	(t) @=8×9×44/12
.464.	都市ガス			Nm^3	5,315.6	45.00	239.2	0.0136	11.9
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
77.1	その他()				0.0				
	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	1,335,432.0	9.76	13,033.8	0.4890	653.0
規貝	第5条の17第3項	可場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 13,273.0		⁽¹⁾ 665.0
その	水道及び工業	用水道		m ³	5,275.0			0.2660	1.4
他	公共下水道			m^3	5,275.0			0.4000	2.1
		合 計							¹⁶ 3.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比)				重点対策			その他対策
田織体制の整備			対策番号	対分		対策番号	対策名
正ネルギー等の 使用状況の把握 B103 時間的に詳細に把握 過去のデータによる傾向の把握 運用対策 設備保守対策 設備保守対策 設備導入対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋 展明点灯範囲の細分化 上級年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比)			A404	テナントへの温暖を	上対策協力依頼		
正ネルギー等の 使用状況の把握 B103 時間的に詳細に把握 過去のデータによる傾向の把握 運用対策 設備保守対策 設備保守対策 設備導入対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋 展明点灯範囲の細分化 上級年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比)	は 繊 体 制 の	整 備					
正 ネルギー等の 使用 状 況 の 把 握 選上 用 対 策 設備 保 守 対策 設備 保 守 対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋 設備 導入 対策 E104 照明点灯範囲の細分化 表徴年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比)	- 1174 11 1174	VIII					
正 ネルギー等の 使用 状 況 の 把 握 選 用 対 策 選 用 対 策 設 備 保 守 対 策 設 備 保 守 対 策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋 設 備 導 入 対 策 E104 照明点灯範囲の細分化 基 提出年度の 目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO。削減率(前年度比)			D100	n+ 88 44) - 30 4m) - (c	, LD		
選用対策 選用対策 設備保守対策 設備導入対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋 限明点灯範囲の細分化 と104 照明点灯範囲の細分化 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□有■無 ベンチマーク区分 ランク CO。削減率(倫牛度比)	ニネルギー	等の					
省エネルルギー 対策	見用状況の	把 握	B100		の傾向の危煙		
省 エネルルギー 対策							
省 エネルルギー 対策							
省 エ ネ ネ ル デ							
省 エ ネ ネ ル デ							
正 ネ ネ ル ギ	運用対	策					
ネルギー 対策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋 照明点灯範囲の細分化 Ei04 照明点灯範囲の細分化 Ei04 照明点灯範囲の細分化 Ei04 原明点灯範囲の細分化 Ei04 原明点灯範囲の細分化 Ei05 提出年度の地球温暖化対策の目標							
ルギー 対策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋 設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 E104 照明点灯範囲の細分化 E105 提出年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比)							
対策 設備保守対策	レ						
設備保守対策							
E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋 E104 照明点灯範囲の細分化 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標目標の有無 両有 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比)	· 付						
設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 Eiff	新 設備保守	対策					
設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 Eiff							
設備導入対策 - 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 - 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□有■無 - ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比)			E103	高効率照明器具0)採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比)	設備導入	対策				E104	照明点灯範囲の細分化
5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 (こ) (本) (本) (本) (本) (立) (元) (元) (元) (元) (元) (元) (元) (元) (元) (元						-	
5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 (ベンチマーク区分 ランク (CO₂削減率(前年度比)							
目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無		票達成	の状況	□ 目標達成し	た。		
目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無		- 11 1	NP 85 # 1	htt - → ==	 ,		
ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比)	提出年度のま) 地球 = 無	温暖化系	東の目標			
	1 保 7 年	37%	□ 相	カダ分	ラック	Ico	削減率(前年度比)
コ	目標値等(選択	,					排出量(総量) t
目標値等(選択) CO2排出量(延床面積当たり) kg-CO2/m² CO2排出量(総量) その他 特記事項に内容を記載	11 际 但 寸 (医)八	.)					7万十二里(松里)
が心ず気に打住を心戦			-C 07/IE	าบ	山事項(こ)1合と	pL 単义	

1	事業所等の概要	•
1	サモ川 守り帆女	٠

事	業月	斤 等	の名	称	平和	印島	高架	干	事務	所														
事	業	所	番	号	А	0	6	3	2	_	0	0	2	0										
					₹	1	4	3	1	0	0	1	6	区	市	町	村:	名]	東京都	『大田』	<u>X</u>			
事	業所	等の	所在	· 地	町 以	名番	F 地 下	大森	能6	-80														
事	業所	等の	延床面	ī 積		1	,486	.05	m^2	事	業	「等 レギ	の - -	実 <i>i</i> ・使	績 [.	年 刊 :		の 間	1	年度分	ì		1年末	卡満
所	7	Ī	形	態		自己	り所る	有] 他	1者原	折有												
報	<i>-</i>	E.	範	囲		建物	カの全	全部] 建	物の)— [₽]	郭(ラ	ーナ	ン	\)			〕建物	勿の一	部((その)他)	
去口	生 銘 [田の主	Eたる月	日之		事務	所					商業	(施	没 (4	物	坂)			〕商業	 権設	(飲	(食)		
邗	口里山	田 マクヨ	ピルのカ	口还		工場	<u>]</u> ガ					複合	施	没					その)他				
	おけ	る細っ	産業分類	子号	6	9	1	1	連	鍾俏	(事業	業区2	分		Ī	直営	店		口力	1盟店			非該	酱
再の	生可	能 エ 用	ネルキ 状	デー 況				ピエネ すの設	ルギ と置	_		再生 気の			ネバ	ノギ・	一電			E書に。 利用	はるま	環境∙	価値	
前か			设告内 変 更	容点																				

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=⑩×0.0258)	5	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 11	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	3 0	t
	総計(④=②+③)	4 11	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当た りの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5 7.4	$kg-CO_2/m^2$

	燃料等の	種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1}
			使用		6	7	® =(⑥/1000)×⑦		(t) @=8×9×44/12
.164.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
mi	その他()				0.0				
	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
^(その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	22,925.7	9.76	223.8	0.4890	11.2
規則	第5条の17第3項	可場合のみなし の	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 223.8		11.2
その	水道及び工業	用水道		m^3	13.9			0.2660	0.0
他	公共下水道			m^3	13.9	/		0.4000	0.0
		合 計							0.0

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無	A404 テナントへの温暖化対策協力依頼 組織体制の整備 B106 過去のデータによる傾向の把握	対策名
組織体制の整備 B106 過去のデータによる傾向の把握 E 用 対 策 道	組織体制の整備 B106 過去のデータによる傾向の把握	
田	B106 過去のデータによる傾向の把握	
田	B106 過去のデータによる傾向の把握	
正 ネルギー等の 東 用 状 況 の 把 握 運 用 対 策 道 用 対 策 ②	B106 過去のデータによる傾向の把握	
正 ネルギー等の 使用 状 況 の 把握 選 用 対 策 省エネルルギー 対 策 設備 保 守 対 策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(属 展明点灯範囲の細分化 原明点灯範囲の細分化 原用に 原面 有 原 の 有 無 回 有 ■ 無 無 原の 有 無 回 有 ■ 無 無 原面 有 無 回 有 ■ 無 再 回 有 ■ 無 再 回 有 ■ 無 再 回 有 ■ 無 再 回 有 ■ 無 再 回 有 ■ 無 再 回 有 ■ 無 再 回 有 ■ 無 再 回 和 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回	B106 過去のデータによる傾向の把握	
使用状況の把握 選用対策 (1)	エ マルギー 竿 の	
選用対策		
省エネルルギー 対策	Net III de la fete	
エネルギー 対策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(属 設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 医104 照明点灯範囲の細分化 E104 照明点灯範囲の細分化 を表して、 をまるとは、 をまるとは	連 用 対 歳	
ネルギー 対策		
ルギー 対策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(属 E104 照明点灯範囲の細分化 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比) CO₂排出量(延床面積当たり) kg-CO₂/m² CO₂排出量(総量)		
日 対策 記備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(属	ル ー	
対策	ギ	を期的か保守・占埝
策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内) E104 照明点灯範囲の細分化 表演年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 日標達成した。 日標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比) CO₂排出量(延床面積当たり) kg-CO₂/m² CO₂排出量(総量) CO₂排出量(必要) CO₂排出量(総量) CO₂排出量(必要) CO₂排出量(CO₂和)(C		
設備導入対策 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 目標達成した。	策 設備保守対策	
設備導入対策 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 目標達成した。		
設備導入対策 正104 照明点灯範囲の細分化 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 日標達成した。 日標 の 有 無 □ 有 ■ 無 「ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比) にの₂排出量(延床面積当たり) kg-CO₂/m² CO₂排出量(総量) にの₂非出量(総量) にの₂まにの₂まにの₂まにの₂まにの₂まにの₂まにの₂まにの₂まにの₂まにの₂ま	E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子:	安定器採用(屋内)
設備導入対策 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m² CO ₂ 排出量(総量)	F104 昭明点灯簕用。	
5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)	設備導入対策	
5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)		
5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)		
目標の有無□ 有 無 □ 無	美績年度の目標達成の状況 <u>□□</u> 目標達成した。	
目標の有無□ 有 無 無 無	5. 提出任度の地球温暖化対策の日標	
ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m² CO ₂ 排出量(総量)		
目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)		t) 9
		t
	でいじ、「おんずなに対していい。	
6 特記事項	3. 炼到事項	

1	事業所	築の	概要
	# *	マン	11/1/1

事	業別	f 等	の名	称	京急	きス	トアュ	平和	島店	ī (A	•B>	У <u>—</u> ;	ン)											
事	業	所	番	号	А	0	6	3	2		0	0	2	1										
					Ŧ	1	4	3	_	0	0	1	6	区	市	町	村。	名す	東京者	『大田	玄			
事	業所	等の	所 在	∄地.	町 以	名番	地 下	大森	靴6	-13	-11	L												
事	業所	等の	延床面	面積		2	,593	.95	m^2	事	業	「等 レギ	の - -	実 á 使	漬 [年 		か 間	1:	年度分	}		1年	未満
所	有	Î	形	態		自己	引所で	有] 他	1者月	有												
報	볃	i	範	囲		建物	物の含	全部		〕建	物の)— [₽]	郭(ラ	ナ	ント	、)			建物	勿の一	·部((その)他)	
七口	生統田	日のう	こたる月	日之		事務	新					商業	(施	没(集	物與	仮)			商美		:(飲	(食)		
干区	口甲巴达	ロマノコ	1. COT	17 /匹		工場	<u>コ</u> ガ					複合	施	没					その)他				
	おける	る細っ	重業分類	≨ 号	6	9	1	1	連	鎮化	と事業	美区 2	分		Ī	直営	店	[口 力	1盟店	:		非談	亥当
再の	生可	能エ 用	ネルキ 状	デー 況			三可能 記設備		ルギ :置	_		再生 気の			ネル	/ギ・	一電	[E書に。)利用	よるタ	環境 [·]	価値	
前か			设 告 内 変 更	容点																				

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=⑩×0.0258)	(1)	377	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	733	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	3	6	t
	総計(④=②+③)	4	739	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当た りの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	6	282.5	$kg-CO_2/m^2$

	燃料等の	· 重 导。	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	® =(6 /1000)× 7		(t) @=8×9×44/12
464.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
755	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
~~	その他の買電(昼夜	- 間不明の場合を含む。)		kWh	1,500,856.0	9.76	14,648.4	0.4890	733.9
規則	第5条の17第3項	(の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 14,648.4		⁽¹⁾ 733.9
その	水道及び工業	用水道		m ³	9,152.0			0.2660	2.4
他	公共下水道	-		m^3	9,152.0	/		0.4000	3.7
		合 計							6.1

^{※1} 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

^{※2} ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無	A404 テナントへの温暖化対策協力依頼 組織体制の整備 B106 過去のデータによる傾向の把握	対策名
組織体制の整備 B106 過去のデータによる傾向の把握 E 用 対 策 道	組織体制の整備 B106 過去のデータによる傾向の把握	
田	B106 過去のデータによる傾向の把握	
田	B106 過去のデータによる傾向の把握	
正 ネルギー等の 東 用 状 況 の 把 握 運 用 対 策 道 用 対 策 ②	B106 過去のデータによる傾向の把握	
正 ネルギー等の 使用 状 況 の 把握 選 用 対 策 省エネルルギー 対 策 設備 保 守 対 策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(属 展明点灯範囲の細分化 原明点灯範囲の細分化 原用に 原面 有 原 の 有 無 回 有 ■ 無 無 原の 有 無 回 有 ■ 無 無 原面 有 無 回 有 ■ 無 再 回 有 ■ 無 再 回 有 ■ 無 再 回 有 ■ 無 再 回 有 ■ 無 再 回 有 ■ 無 再 回 有 ■ 無 再 回 有 ■ 無 再 回 和 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回	B106 過去のデータによる傾向の把握	
使用状況の把握 選用対策 (1)	エ マルギー 竿 の	
選用対策		
省エネルルギー 対策	Net III de la fete	
エネルギー 対策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(属 設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 医104 照明点灯範囲の細分化 E104 照明点灯範囲の細分化 を表して、 をまるとは、 をまるとは	連 用 対 歳	
ネルギー 対策		
ルギー 対策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(属 E104 照明点灯範囲の細分化 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比) CO₂排出量(延床面積当たり) kg-CO₂/m² CO₂排出量(総量)		
日 対策 記備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(属	ル ー	
対策	ギ	を期的か保守・占埝
策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内) E104 照明点灯範囲の細分化 表演年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 日標達成した。 日標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比) CO₂排出量(延床面積当たり) kg-CO₂/m² CO₂排出量(総量) CO₂排出量(必要) CO₂排出量(総量) CO₂排出量(必要) CO₂排出量(CO₂和)(C		
設備導入対策 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 目標達成した。	策 設備保守対策	
設備導入対策 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 目標達成した。		
設備導入対策 正104 照明点灯範囲の細分化 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 日標達成した。 日標 の 有 無 □ 有 ■ 無 「ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比) にの₂排出量(延床面積当たり) kg-CO₂/m² CO₂排出量(総量) にの₂非出量(総量) にの₂まにの₂まにの₂まにの₂まにの₂まにの₂まにの₂まにの₂まにの₂まにの₂ま	E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子:	安定器採用(屋内)
設備導入対策 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m² CO ₂ 排出量(総量)	F104 昭明点灯簕用。	
5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)	設備導入対策	
5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)		
5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)		
目標の有無□ 有 無 □ 無	美績年度の目標達成の状況 <u>□□</u> 目標達成した。	
目標の有無□ 有 無 無 無	5. 提出任度の地球温暖化対策の日標	
ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m² CO ₂ 排出量(総量)		
目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)		t) 9
		t
	でいじ、「おんずなに対していい。	
6 特記事項	3. 炼到事項	

1	事業所等	この無更
	- ザボバハマ	トリノルルマ

その2

事	業原	f 等	の名	称	京急	きス	トアュ	 平和	島店	Ē(C	ゾー	シ)												
事	業	所	番	号	А	0	6	3	2		0	0	2	2										
					Ŧ	1	4	3		0	0	1	6	区	市	町	村。	名耳	東京者	都大田	区			
事	業所	等の	所 在	: 地	町 以	名番	F 地 下	大森	北6	-77														
事	業所	等の	延床面	面積		1	,050	.09	m^2	事	業 ア ネ <i>バ</i>	「等 レギ	の :	実績使	漬 :	年 刊 :		か 間	1	年度名	分		1年	未満
所	有	Î	形	態		自己	りが	育] 他	1者原	有												
報	싇	i	範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)— [₽]	郭(ラ	ーナン	ン	\)			建物	物の-	一部	(その	の他)
去口	生 銘 日	日のう	こたる月	日之		事務	鲚					商業	(施	没 (非	物	坂)			商	業施設	殳(食	欠食.)	
干以		-				工場	<u>司</u> 扩					複合	施	没					その	の他				
	おける	る細っ	産業 分 分類 番	≨ 号	6	9	1	1	連	鎖化	(事業	美区 2	分		Ī	直営	店	[コカ	加盟 尼	i		非	該当
再の	生可利	能 エ 用	ネルキ 状	デー 況			:可能 記設備			_		再生 気の			ネノ	ノギ・	一電			証書に の利用		環境	価値	Ī
前か			设告内 変 更	容点																				

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=⑩×0.0258)	1.	5 kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 30) t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	3) t
	総計(④=②+③)	① 3·) t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当た りの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	© 28.	kg-CO ₂ /m ²

	燃料等の	種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	排出	炭素排出量 排出量 ^{※1}
			使用		6	7	® =(6 /1000)× 7	係数 ^⑨	(t) @=8×9×44/12
-1641.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
This	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
^\	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	62,665.0	9.76	611.6	0.4890	30.6
規則	第5条の17第3項	(の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					611.6		30.6
その	水道及び工業	用水道		m^3	196.0			0.2660	0.1
他	公共下水道			m^3	196.0	/		0.4000	0.1
		合 計							0.1

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無	A404 テナントへの温暖化対策協力依頼 組織体制の整備 B106 過去のデータによる傾向の把握	対策名
組織体制の整備 B106 過去のデータによる傾向の把握 E 用 対 策 道	組織体制の整備 B106 過去のデータによる傾向の把握	
田	B106 過去のデータによる傾向の把握	
田	B106 過去のデータによる傾向の把握	
正 ネルギー等の 東 用 状 況 の 把 握 運 用 対 策 道 用 対 策 ②	B106 過去のデータによる傾向の把握	
正 ネルギー等の 使用 状 況 の 把握 選 用 対 策 省エネルルギー 対 策 設備 保 守 対 策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(属 展明点灯範囲の細分化 原明点灯範囲の細分化 原用に 原面 有 原 の 有 無 回 有 ■ 無 無 原 の 有 無 回 有 ■ 無 無 原面 有 無 回 有 ■ 無 再 原面 有 画 和 用 原面 有 画 和 用 用 用 用 用 用 用 用 用 用 用 用 用 用 用 用 用 用	B106 過去のデータによる傾向の把握	
使用状況の把握 選用対策 (1)	エ マルギー 竿 の	
選用対策		
省エネルルギー 対策	Net III de la fete	
エネルギー 対策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(属 設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 医104 照明点灯範囲の細分化 E104 照明点灯範囲の細分化 を表して、 をまるとは、 をまるとは	連 用 対 歳	
ネルギー 対策		
ルギー 対策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(属 E104 照明点灯範囲の細分化 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比) CO₂排出量(延床面積当たり) kg-CO₂/m² CO₂排出量(総量)		
日 対策 記備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(属	ル ー	
対策	ギ	を期的か保守・占埝
策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内) E104 照明点灯範囲の細分化 表演年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 日標達成した。 日標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比) CO₂排出量(延床面積当たり) kg-CO₂/m² CO₂排出量(総量) CO₂排出量(必要) CO₂排出量(総量) CO₂排出量(必要) CO₂排出量(CO₂和)(C		
設備導入対策 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 目標達成した。	策 設備保守対策	
設備導入対策 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 目標達成した。		
設備導入対策 正104 照明点灯範囲の細分化 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 日標達成した。 日標 の 有 無 □ 有 ■ 無 「ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比) にの₂排出量(延床面積当たり) kg-CO₂/m² CO₂排出量(総量) にの₂非出量(総量) にの₂まにの₂まにの₂まにの₂まにの₂まにの₂まにの₂まにの₂まにの₂まにの₂ま	E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子:	安定器採用(屋内)
設備導入対策 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m² CO ₂ 排出量(総量)	F104 昭明点灯簕用。	
5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)	設備導入対策	
5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)		
5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)		
目標の有無□ 有 無 □ 無	美績年度の目標達成の状況 <u>□□</u> 目標達成した。	
目標の有無□ 有 無 無 無	5. 提出任度の地球温暖化対策の日標	
ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m² CO ₂ 排出量(総量)		
目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)		t) 9
		t
	でいじ、「おんずなに対していい。	
6 特記事項	3. 炼到事項	

1	事業所等の概要
1	

その2

事	業点	近 等	の名	称	大鳥	鳥居	駅前	方店都	浦																
事	業	所	番	号	А	0	6	3	2	_	0	0	2	3											
					₹	1	4	4		0	0	3	4	区	市	町	村:	名	東京	都大	田区				
事	業所	等の	り所有	E地	町 以	名番	F 地 下	西糊	控3	-38	-1														
事	業所	等の	延床面	面積			595	.57	m^2	事	業 所ネノ	ī等 レギ	の <u>:</u> 	実 á 使	漬 [年 月		の間		1年月	度分			1年未	:満
所	7	Ī	形	態		自己	りが	育		〕他	1者原	有													
報	<u> </u>	片	範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)—‡	郭(ラ	ナ	ント	.)			建	物の)一音	ß (4	その	他)	
去口	生統[田の一	Eたる月	日次		事務	鲚					商業	(施	没(非	物則	反)			商	業施	6設(飲1)		
邗		•			Ш	工場] 才					複合	施	没					ーそ	の他	Į,				
	おけ	る細	産業分 分類る	昏 号	6	9	1	1	連	鎖化	(事業	美区 2	分		Ī	直営	店			加盟	店			非該	当
再の	生可利	能エ 用	ネル ^は 状	ギー 況			:可能 記設備		ルギ :置	_		再生 気の			ネル	ギー	一電			証書 の利		5環	境征	値	
前か			报告卢 変 更	容点																					

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=⑩×0.0258)	35	kl kl
1	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	© 68	3 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	3 (t
	総計(④=②+③)	^④	3 t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当た りの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 114.1	kg-CO ₂ /m ²

	燃料等の	· <u>血量 守 </u>	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	排出	炭素排出量 排出量 ^{※1}
			使用		6	7	® =(6 /1000)× 7	係数 ^⑨	(t) @=8×9×44/12
.464.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
775	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
~~	その他の買電(昼夜	- 間不明の場合を含む。)		kWh	140,522.0	9.76	1,371.5	0.4890	68.7
規則	第5条の17第3項	可場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 1,371.5		¹⁵ 68.7
その	水道及び工業	用水道		m ³	1,113.0			0.2660	0.3
他	公共下水道			m^3	1,113.0	/		0.4000	0.4
		合 計							0.7

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

正 ネ ネ カ カ 策		地球温暖化対策		重点対策		その他対策
田 織 体 制 の 整 備 エネルギー等の 使用 状 況 の 把 握 選 用 対 策 設 備 保 守 対 策 設 備 保 守 対 策 設 備 保 守 対 策 と 103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内) 設 備 導 入 対 策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E104 照明点灯範囲の細分化 ま 接 年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖 化対 策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 マンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比) 目標値等 (選択) CO₂排出量 (銀床面積当たり) た 場 CO₂排出量 (総最) で での。 特記事項に内容を記載			対策番号	対策名	対策番号	対策名
正 ネルギー等の 更用 状況の把握 選 用 対 策			A404	テナントへの温暖化対策協力依頼		
正 ネルギー等の 更用 状況の把握 選 用 対 策	紀日 幺	** 休 **! の 敷 借				
正 ネルギー等の 使用 状 況 の 把 握 選 用 対 策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内) 設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 表積年度の目標達成の状況 目標を使の地球温暖化対策の目標 目標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(飾年度比) その他 特記事項に内容を記載	P.D. /N	以 中 町 シュ 歪 畑				
正 ネルギー等の 使用 状 況 の 把 握 選 用 対 策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内) 設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 表積年度の目標達成の状況 目標を使の地球温暖化対策の目標 目標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(飾年度比) その他 特記事項に内容を記載						
選用 対策		ラッギ 然の	B106	過去のデータによる傾向の把握		
選用対策						
者 エネルルギー 対策		72 72				
者 エネルルギー 対策						
者 エネルルギー 対策						
者 エネルルギー 対策						
者 エネルルギー 対策						
正 ネ ネ カ カ 策		運用対策				
正 ネ ネ カ カ 策	省					
ルギー 対策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内) 設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 E104 照明点灯範囲の細分化 E104 により には、	エ					
ぎ 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内) E104 照明点灯範囲の細分化 E104 照明点灯範囲の細分化 E104 照明点灯範囲の細分化 E104 照明点灯範囲の細分化 E105 提出年度の地球温暖化対策の目標 標の有無 □ 有 ■ 無 ボンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比) での2排出量(延床而積当たり) kg-CO₂/m² CO₂排出量(総量) での他 特記事項に内容を記載 E105 対策の目標 E106 円式 E107 円式 E108 円式 E109 円式 E						
対策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内) 設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 E104 照明点灯範囲の細分化 E104 照明点灯範囲の細分化 E104 照明点灯範囲の細分化 E106 点提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□ 有 無 無	ギ					
策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内) 設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 E104 照明点灯範囲の細分化 E104 照明点灯範囲の細分化 E106 照明点灯範囲の細分化 E107						
E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内) E104 照明点灯範囲の細分化 E104 照明点灯කーム E104 に対しまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	对 第	設備保守対策				
設備導入対策	/K	12 - 110 - 110 - 110 - 110				
設備導入対策						
設備導入対策 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標			E103	高効率照明器具の採用(屋内)		
実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO2削減率(前年度比) で CO2排出量(延床而積当たり) kg-CO2/m² CO2排出量(総量) での他 特記事項に内容を記載		設備導入対策			E104	照明点灯範囲の細分化
5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分						
5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分						
5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分	実絹	青年度の目標達成	 の状況	□ 目標達成した。		
目標の有無□ 有 ■ 無						
マンチマーク区分 ランク CO2削減率(前年度比) 9 日標値等(選択) CO2排出量(延床面積当たり) kg-CO2/m² CO2排出量(総量) t その他 特記事項に内容を記載	5 3					
目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床而積当たり) kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量) t その他 特記事項に内容を記載			\Box \pm	III 無		
その他特記事項に内容を記載		標の有無				META N. C.
		標 の 有 無		ク区分ランク		
5 特記事項	<u> </u>		ベンチマー	ク区分ランク		
5 特記事項			ベンチマー CO ₂ 排出量	ク区分 ランク (延床面積当たり) kg-C	$\mathrm{CO_2/m^2}$ $\mathrm{CO_2}$	
			ベンチマー CO ₂ 排出量	ク区分 ランク (延床面積当たり) kg-C	$\mathrm{CO_2/m^2}$ $\mathrm{CO_2}$	
	目標	原値等(選択)	ベンチマー CO ₂ 排出量	ク区分 ランク (延床面積当たり) kg-C	$\mathrm{CO_2/m^2}$ $\mathrm{CO_2}$	
	目標	原値等(選択)	ベンチマー CO ₂ 排出量	ク区分 ランク (延床面積当たり) kg-C	$\mathrm{CO_2/m^2}$ $\mathrm{CO_2}$	
	目標	原値等(選択)	ベンチマー CO ₂ 排出量	ク区分 ランク (延床面積当たり) kg-C	$\mathrm{CO_2/m^2}$ $\mathrm{CO_2}$	
	目標	原値等(選択)	ベンチマー CO ₂ 排出量	ク区分 ランク (延床面積当たり) kg-C	$\mathrm{CO_2/m^2}$ $\mathrm{CO_2}$	
	目標	原値等(選択)	ベンチマー CO ₂ 排出量	ク区分 ランク (延床面積当たり) kg-C	$\mathrm{CO_2/m^2}$ $\mathrm{CO_2}$	
	目標	原値等(選択)	ベンチマー CO ₂ 排出量	ク区分 ランク (延床面積当たり) kg-C	$\mathrm{CO_2/m^2}$ $\mathrm{CO_2}$	
	目標	原値等(選択)	ベンチマー CO ₂ 排出量	ク区分 ランク (延床面積当たり) kg-C	$\mathrm{CO_2/m^2}$ $\mathrm{CO_2}$	
	目標	原値等(選択)	ベンチマー CO ₂ 排出量	ク区分 ランク (延床面積当たり) kg-C	$\mathrm{CO_2/m^2}$ $\mathrm{CO_2}$	
	目標	原値等(選択)	ベンチマー CO ₂ 排出量	ク区分 ランク (延床面積当たり) kg-C	$\mathrm{CO_2/m^2}$ $\mathrm{CO_2}$	
	目標	原値等(選択)	ベンチマー CO ₂ 排出量	ク区分 ランク (延床面積当たり) kg-C	$\mathrm{CO_2/m^2}$ $\mathrm{CO_2}$	

1	事業所等の	の椰更
1	サポバル すり	ノルス

その2

事	業房	f 等	の名	称	大鳥	鳥居	京急	第	[ビノ	レ(オ	フィ	ノオ	(利											
事	業	所	番	号	А	0	6	3	2		0	0	2	4										
					Ŧ	1	4	4		0	0	4	3	区	市	町	村:	名耳	東京者	都大田	区			
事	業所	等の	所 在	: 地	町 以	名番	F 地 下	羽田	11-	1														
事	業所	等の	延床面	面積		5	,434	.89	m^2	事	業 ア ネ <i>バ</i>	「等 レギ	の <u>;</u> 	実 約 使	漬 [年 則		か 間	1	年度名	分		1年	三未満
所	有	Î	形	態		自己	り所る	有] 他	1者原	斤有												
報	겉	ī	範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)— ^E	郭(ラ	-ナ:	ント	、)			建物	物の一	一部	(その	の他)
報	報告範囲の主たる用途			日余		事務	所					商業	É施 i	没(4	物則	反)			商	業施認	殳(食	欠食.)	
TIX						工場] 7					複合	施	没					その	の他				
	おける	る細っ	至 業 分 分 類 番	争号	6	9	1	1	連	鎖化	(事業	業区2	分		Ī	直営	店	[コカ	加盟 尼	i		非	該当
再の	生可利	能 エ 用	ネルキ 状	デー 況			:可能 記設備		ルギ :置	_		再生 気の			ネル	/ギ-	一電			証書に の利用	よる	環境	価値	Î
前か			设告内 変 更	容点																				

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	(1)	143	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	277	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	3	3	t
	総計(④=②+③)	4	280	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当た りの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	(5)	50.9	$kg-CO_2/m^2$

			推計		使用量	係数	熱量	二酸化 排出	炭素排出量 排出量 ^{※1}
燃料等の種別			の 使用	単位			(GJ)	係数	(t)
					6	7	8=(6/1000)×7	9	(0)=(8)×(9)×44/12
燃	都市ガス			Nm^3	3,741.0	45.00	168.3	0.0136	8.4
	窓 料 その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	び その他()				0.0				
77/1	*** その他()				0.0				
	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	550,953.0	9.76	5,377.3	0.4890	269.4
規貝	第5条の17第3項	(の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					[®] 5,545.6		⁽¹⁵⁾ 277.8
その	水道及び工業	用水道		m^3	4,659.0			0.2660	1.2
他	公共下水道			m^3	4,659.0	/		0.4000	1.9
	_	合 計							¹⁶ 3.1

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

	地球温暖化対策		重点対策			その他対策
		対策番号	対策	名	対策番号	対策名
		A404	テナントへの温暖化	対策協力依頼		
月音	織体制の整備					
	11 113 1 113					
		D100	n+ 88 44) = 5\(\langle \langle m \) = fm 45	-		
r.	ネルギー等の	B103	時間的に詳細に把握			
吏 ,	用状況の把握	B106	過去のデータによる	唄門の花姪		
	運用対策					
省						
工						
ネル						
ギ						
<u> </u>						
対策	設備保守対策					
/K						
		E103	高効率照明器具の摂	(田(民内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
		E103	同効平思列命兵の万	K川(庄r1)	E102	照明点灯範囲の細分化
	設備導入対策				LIOT	
			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		1	l
美 希	責年度の目標達成	の状況	□ 目標達成した	-0		
5	提出年度の地球	シ担 瑶 小 え	+筈の日樗			
, 	標の有無	有	無無			
•	124 1 14 2111	ベンチマー	ク区分	ランク	CO.	削減率(前年度比)
目根	票値等(選択)		(延床面積当たり)	kg-CC		排出量(総量) t
. ,	7 (124)	その他		事項に内容を		
		, , ,	1.4 HC	7.7. 7.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1	HC-174	
3						

1 事業所等の概要

その2

事	業月	斤 等	の名	称	大鳥	鳥居	京急	第2	2ビノ	レ(ホ	テル	レ棟))											
事	業	所	番	号	А	0	6	3	2		0	0	2	5										
					₹	1	4	4		0	0	4	3	区	市	町	村。	名页	東京者	郭大田	区			
事	業所	等の	所 在	: 地	町 以	名番	F 地 下	羽田	11-	7														
事	業所	等の	延床面	面積		5	,188	.41	m^2	事	業	「等 レギ	の -	実 á 使	績 [.	年 用;		か 間	1	年度:	分] 1	年未満
所	1	Î	形	態		自己	りが	育] 他	1者月	折有												
報	Ę	<u>;</u>	範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)—‡	郛(ラ	ナ	ン	¬)			建华	物の-	一部	(そ	の作	<u>11</u>)
去口	生 绍 [ヨのう	三たる月	日之		事務	鲚					商業	き施言	没(4	物	坂)			商	業施記	殳 (食	次食	:)	
邗		ガマノヨ	ニ/こる/	17 (匹		工場] ガ					複合	施	没					その	の他				
	おけ	る細っ	至業分類	争号	6	9	1	1	連	鎮化	と事業	業区2	分		Ī	直営	店		ロカ	加盟尼	ŧ		. ∌	丰該当
再の	生可	能 エ 用	ネルキ 状	デー 況			:可能 記設備		ルギ :置	_		再生 気の			ネバ	レギ・	一電			証書に ひ利用		環境	急価-	値
前か			设告内 変 更	容点																				

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	(1)	130	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2	252	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	3	8	t
	総計(④=②+③)	4	260	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当た りの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	6	48.5	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の	種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	排出	炭素排出量 排出量 ^{※1}
			使用		6	7	® =(6 /1000)× 7	係数 ^⑨	(t) @=8×9×44/12
.464.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
200	その他()				0.0				
	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	516,701.0	9.76	5,043.0	0.4890	252.7
規貝	川第5条の17第3項	真の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 5,043.0		⁽¹⁾ 252.7
その	水道及び工業	用水道		m^3	13,097.0			0.2660	3.5
他	公共下水道			m^3	13,097.0			0.4000	5.2
		合 計							8.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

ネルギー 対策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内) E104 照明点灯範囲の細分化 E104 照明点灯範囲の細分化 E104 原明点灯範囲の細分化 E105 原列 E10		地球温暖化対策		重点対策			その他対策
日 織 体 制 の 整 備			対策番号	対策	名	対策番号	対策名
正 ネルギー等の 度用状況の把握 B106 過去のデータによる傾向の把握 B107 主要設備の使用状況の把握 運用対策 。			A404	テナントへの温暖化	対策協力依頼		
正 ネルギー等の 度用状況の把握 B103 時間的に詳細に把握 B106 過去のデータによる傾向の把握 B107 主要設備の使用状況の把握 運用対策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内) 設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 表積年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 CO₂排出量(優殊商権当たり) kg-CO₂/m² CO₂排出量(総最)	.H 2	** 休 **! の 敷 借					
正 ネルギー等の 使用 状 況 の 把 握 B106 B107 主要設備の使用状況の把握	ш. Л	取 中 町 ツ 金 畑					
正 ネルギー等の 使用 状 況 の 把 握 B106 過去のデータによる傾向の把握							
更用状況の把握 B107 上要設備の使用状況の把握		ラルゼーダの	B103	ļ			
選用対策 (者エネネル) まで、 (本) は (本) は (本) は (大) を (B106	過去のデータによる	傾向の把握		
省 コネルボー 対策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内) E104 照明点灯範囲の細分化 E104 照明点灯範囲の細分化 E104 原明点灯範囲の細分化 E104 原子での世球温暖化対策の目標			B107	主要設備の使用状	況の把握		
省 コネルボー 対策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内) E104 照明点灯範囲の細分化 E104 照明点灯範囲の細分化 E104 原明点灯範囲の細分化 E104 原子での世球温暖化対策の目標							
省 コネルボー 対策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内) E104 照明点灯範囲の細分化 E104 照明点灯範囲の細分化 E104 原明点灯範囲の細分化 E104 原子での世球温暖化対策の目標							
省 コネルボー 対策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内) E104 照明点灯範囲の細分化 E104 照明点灯範囲の細分化 E104 原明点灯範囲の細分化 E104 原子での世球温暖化対策の目標							
省 コネルボー 対策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内) E104 照明点灯範囲の細分化 E104 照明点灯範囲の細分化 E104 原明点灯範囲の細分化 E104 原子での世球温暖化対策の目標		V					
正 ネ ネ カ		連 用 対 策					
ネルギー対策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内) 設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 E104 照明点灯範囲の細分化 E104 に対策の目標では、対策の目標では、対策の目標では、でいます。 「提出年度の地球温暖化対策の目標では、でいます。」 「ボンチマーク区分」での2排出量(経験が)に、での2排出量(経験が)に、は、アンチマーク区分は、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学で	省						
ルギー 対策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内) 設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 E104 照明点灯範囲の細分化 E104 に関リ点灯範囲の細分化 E104 に関いを表現である。 E105 音標 の 有 無 □ 有 ■ 無	エッ						
計数	イル			-			
対策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内) 設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 E104 照明点灯範囲の細分化 E104 に関いるに対策の目標では、できる。 E105 提出年度の地球温暖化対策の目標では、できる。 E106 に対策の目標では、できる。 E107 にいる。 E108 に対策の目標では、できる。 E109 には、対策の目標では、できる。 E109 には、対策の目標では、できる。 E109 には、対策の目標では、できる。 E109 には、対策の目標では、できる。 E109 には、対策の目標では、できる。 E109 に209 に209 に209 に209 に209 に209 に209 に2	ギ						
策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内) E104 照明点灯範囲の細分化 接続年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 日標達成した。 日標達成した。 日標 の 有 無 □ 有 ■ 無							
設備導入対策 正記4 照明点灯範囲の細分化 表演年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標 の 有 無 □ 有 ■ 無	策	設備保守対策					
設備導入対策 正記4 照明点灯範囲の細分化 表演年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標 の 有 無 □ 有 ■ 無							
設備導入対策 正記4 照明点灯範囲の細分化 表演年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標 の 有 無 □ 有 ■ 無			E102	直効素照明製具の		F102	学来打《重子字字架採用(层内)
設備導入対策 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標			E103	同郊华思明奋兵の	休川 (座 11)		
5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m² CO ₂ 排出量(総量)		設備導入対策				E104	「京では、「京では、「京では、「京では、「京では、「京では、「京では、「京では、
5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m² CO ₂ 排出量(総量)							
5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m² CO ₂ 排出量(総量)				<u> </u>			
目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無	実績	責年度の目標達成	の状況	□ 目標達成した	<u>~</u> _0		
目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無		I De la Carlo de l					
ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m² CO ₂ 排出量(総量)	5	提出年度の地球	温暖化刻	策の目標			
目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)		標の 有 悪	□ 有	無無	, ,	Igo	W(A4 ==)
その他特記事項に内容を記載	目標	禁値等(選択)					z排出量(総量) t
			その他	特記	己事項に内容を	·記載	
	3	特記事項					
b 特記事項	_						

1 事業所等の概要

事	業	所	等	の名	称	大鳥	鳥居	ビル	(レ	ストラ	ラン)														
事		業	所	番	号	А	0	6	3	2	_	0	0	2	6										
						₹	1	4	4	_	0	0	4	3	区	市	町	村。	名耳	東京都	都大田	区			
事	業	所	等 σ.	所在	土地	町夕以	名番	F 地 下	羽田	11-	1-3														
事	業	所領	争の 🤅	延床面	面積			557	.07	m^2	事	業 戸ネノ	「等 レギ	の <u>:</u> 	実 <i>統</i> 使	績 [年 則		か 間	1	年度	分		1年	手未満
所		有		形	態		自己	りが	j		〕他	1者原	折有												
報		告		範	囲		建物	カの全	产部		〕建	物の)— [₽]	郭(ラ	ナ	ント	、)			建	物の-	一部	(そ(の他)
七口	生.4	25 田	$(\mathcal{O})^{\frac{1}{2}}$	こたる月	日之		事務	鲚					商業	(施)	没(4	物原	反)			商	業施調	没(食	欠食)	
干区		10万二	V J ±	-1-0 <i>F</i>	17 /匹		工場] ガ					複合	施	没					その	の他				
	お	ける	細	重業分 分類番	争号	6	9	1	1	連	鎖化	(事業	業区2	分		<u>[]</u>	直営	店	[コ <i>ナ</i>	加盟原	芋		非	該当
再の		可育 利	_{臣エ} 用	ネルキ 状	デー 況			:可能 記設備		ルギ :置	_		再生 気の			ネル	/ギ-	一電			証書に ひ利用		環境	価値	Î
前か				是 告 内	容点																				

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	(1)	75	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2	146	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	3	1	t
	総計(④=②+③)	4	147	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当た りの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	(5)	262.0	$kg-CO_2/m^2$

Ŭ		-田玉4-21-114	推計				熱量	二酸化	炭素排出量
	燃料等の	種別	の	単位	使用量	係数	然里 (GJ)	排出 係数	排出量**1
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	徐毅 ⑨	(t) @=8×9×44/12
-1641.	都市ガス			Nm^3	35,060.6	45.00	1,577.7	0.0136	78.7
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
100	その他()				0.0				
	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	137,938.0	9.76	1,346.3	0.4890	67.5
規貝	第5条の17第3項	可場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 2,924.0		⁽¹⁾ 146.1
その	水道及び工業	用水道		m^3	2,197.0			0.2660	0.6
他	公共下水道			m^3	2,197.0	/		0.4000	0.9
		合 計							1.5

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比)				重点対策			その他対策
田織体制の整備			対策番号	対分		対策番号	対策名
正ネルギー等の 使用状況の把握 B103 時間的に詳細に把握 過去のデータによる傾向の把握 運用対策 設備保守対策 設備保守対策 設備導入対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋 展明点灯範囲の細分化 上級年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比)			A404	テナントへの温暖を	上対策協力依頼		
正ネルギー等の 使用状況の把握 B103 時間的に詳細に把握 過去のデータによる傾向の把握 運用対策 設備保守対策 設備保守対策 設備導入対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋 展明点灯範囲の細分化 上級年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比)	は 繊 体 制 の	整 備					
正 ネルギー等の 使用 状 況 の 把 握 選上 用 対 策 設備 保 守 対策 設備 保 守 対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋 設備 導入 対策 E104 照明点灯範囲の細分化 表徴年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比)	- 1174 11 1174	VIII					
正 ネルギー等の 使用 状 況 の 把 握 選 用 対 策 選 用 対 策 設 備 保 守 対 策 設 備 保 守 対 策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋 設 備 導 入 対 策 E104 照明点灯範囲の細分化 基 提出年度の 目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO。削減率(前年度比)			D100	n+ 88 44) - 30 4m) - (c	, LD		
選用対策 選用対策 設備保守対策 設備導入対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋 限明点灯範囲の細分化 と 104 照明点灯範囲の細分化 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□有■無 ベンチマーク区分 ランク CO。削減率(倫牛度比)	ニネルギー	等の					
省エネルルギー 対策	見用状況の	把 握	B100		の傾向の危煙		
省 エネルルギー 対策							
省 エネルルギー 対策							
省 エ ネ ネ ル デ							
省 エ ネ ネ ル デ							
正 ネ ネ ル ギ	運用対	策					
ネルギー 対策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋 照明点灯範囲の細分化 Ei04 照明点灯範囲の細分化 Ei04 照明点灯範囲の細分化 Ei04 原明点灯範囲の細分化 Ei04 原明点灯範囲の細分化 Ei05 提出年度の地球温暖化対策の目標							
ルギー 対策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋 設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 E104 照明点灯範囲の細分化 E105 提出年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比)							
対策 設備保守対策	レ						
設備保守対策							
E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋 E104 照明点灯範囲の細分化 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標目標の有無 両有 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比)	· 付						
設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 Eiff	新 設備保守	対策					
設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 Eiff							
設備導入対策 - 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 - 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□有■無 - ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比)			E103	高効率照明器具0)採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比)	設備導入	対策				E104	照明点灯範囲の細分化
5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 (こ) (本) (本) (本) (本) (立) (元) (元) (元) (元) (元) (元) (元) (元) (元) (元						-	
5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 (ベンチマーク区分 ランク (CO₂削減率(前年度比)							
目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無		票達成	の状況	□ 目標達成し	た。		
目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無		- 11 1	NP 85 # 1	htt	 ,		
ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比)	提出年度のま) 地球 = 無	温暖化系	東の目標			
	1 保 7 年	- XK	□ 相	カダ分	ラック	Ico	削減率(前年度比)
コ	目標値等(選択	,					排出量(総量) t
目標値等(選択) CO2排出量(延床面積当たり) kg-CO2/m² CO2排出量(総量) その他 特記事項に内容を記載	11 际 但 寸 (医)八	.)					7万十二里(松里)
が心ず気に打住を心戦			-C 07/IE	าบ	山事項(こ)1合と	pL 単义	

1	事業所等の概要
1	サイバ サッパルケ

	3 / / / / /		- 100	٠.																	
事	業所	等	の名	称	穴;	宇稲	荷貨	貸	店舗												
事	業	所	番	号	А	0	6	3	2		0	0	2	7							
	. \II →~		<i>1</i>		Ŧ	1	4	4		0	0	4	3	区	市町	「村	名東	京都	大田区		
事	業所	等の) 所 召	E 地	町は以	名番	地下	羽田	14-	6-1	1										
事	業所等	等の タ	延床面	面積			133	.99	m^2		業 彦 ネ ノ					· 度 期	の 間	1年	度分		1年未満
所	有		形	態		自己	引所を	自] 他	1者月	桁									
報	告		範	囲		建物	物の含	管部		〕建	物の)— [₽]	郭(ラ	ーナ	ント)			建物	の一音	『(そ)	の他)
幸呂	告範囲	டிர்	ナスト	日冷		事務	新					商業	É施	没(4	勿販)	1		商業	施設(飲食)
+IX		1001	-1-'a)	11 X		工場	<u>司</u> 切					複合	施	没				その	他		
	本 標 おける	細	分類者	昏 号	6	9	1	1	連	鎮化	(事業	美区 2	分		直信	営店] 加!	盟店		非該当
再の	生可能 利	_{もエ} 用	ネル ^ュ 状	ギー 況			三可能 記設備			_		再生 気の			ネルキ	一電	. [書による 利用	る環境	価値
前か	年度らら	の 新 フ 婆		容点																	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エン	ネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	2′	7 kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 5:	3 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	3) t
	総計(④=②+③)	① 5:	3 t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当た りの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	© 395.	kg-CO ₂ /m ²

		-田玉4~1111	推計				熱量	二酸化	炭素排出量
	燃料等の	種別	の	単位	使用量	係数	烈里 (GJ)	排出 係数	排出量**1
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	徐毅 ⑨	(t) @=8×9×44/12
-1641.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
100	その他()				0.0				
	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
^(その他の買電(昼夜	- 間不明の場合を含む。)		kWh	108,895.0	9.76	1,062.8	0.4890	53.2
規貝	第5条の17第3項	可場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 1,062.8		⁽¹⁾ 53.2
その	水道及び工業	用水道		m^3	154.0			0.2660	0.0
他	公共下水道			m^3	154.0	/		0.4000	0.1
		合 計							0.1

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比)				重点対策			その他対策
田織体制の整備			対策番号	対分		対策番号	対策名
正ネルギー等の 使用状況の把握 B103 時間的に詳細に把握 過去のデータによる傾向の把握 運用対策 設備保守対策 設備保守対策 設備導入対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋 展明点灯範囲の細分化 上級年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比)			A404	テナントへの温暖を	上対策協力依頼		
正ネルギー等の 使用状況の把握 B103 時間的に詳細に把握 過去のデータによる傾向の把握 運用対策 設備保守対策 設備保守対策 設備導入対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋 展明点灯範囲の細分化 上級年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比)	は 繊 体 制 の	整 備					
正 ネルギー等の 使用 状 況 の 把 握 選上 用 対 策 設備 保 守 対策 設備 保 守 対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋 設備 導入 対策 E104 照明点灯範囲の細分化 表徴年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比)	- 1174 11 1174	VIII					
正 ネルギー等の 使用 状 況 の 把 握 選 用 対 策 選 用 対 策 設 備 保 守 対 策 設 備 保 守 対 策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋 設 備 導 入 対 策 E104 照明点灯範囲の細分化 基 提出年度の 目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO。削減率(前年度比)			D100	n+ 88 44) - 30 4m) - (c	, LD		
選用対策 選用対策 設備保守対策 設備導入対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋 限明点灯範囲の細分化 と 104 照明点灯範囲の細分化 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□有■無 ベンチマーク区分 ランク CO。削減率(倫牛度比)	ニネルギー	等の					
省エネルルギー 対策	見用状況の	把 握	B100		の傾向の危煙		
省 エネルルギー 対策							
省 エネルルギー 対策							
省 エ ネ ネ ル デ							
省 エ ネ ネ ル デ							
正 ネ ネ ル ギ	運用対	策					
ネルギー 対策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋 照明点灯範囲の細分化 Ei04 照明点灯範囲の細分化 Ei04 照明点灯範囲の細分化 Ei04 原明点灯範囲の細分化 Ei04 原明点灯範囲の細分化 Ei05 提出年度の地球温暖化対策の目標							
ルギー 対策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋 設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 E104 照明点灯範囲の細分化 E105 提出年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比)							
対策 設備保守対策	レ						
設備保守対策							
E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋 E104 照明点灯範囲の細分化 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標目標の有無 両有 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比)	· 付						
設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 Eiff	新 設備保守	対策					
設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 Eiff							
設備導入対策 - 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 - 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□有■無 - ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比)			E103	高効率照明器具0)採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比)	設備導入	対策				E104	照明点灯範囲の細分化
5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 (こ) (本) (本) (本) (本) (立) (元) (元) (元) (元) (元) (元) (元) (元) (元) (元						-	
5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 (ベンチマーク区分 ランク (CO₂削減率(前年度比)							
目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無		票達成	の状況	□ 目標達成し	た。		
目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無		- 11 1	NP 85 # 1	htt - → ==	 ,		
ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比)	提出年度のま) 地球 = 無	温暖化系	東の目標			
	1 保 7 年	37%	□ 相	カダ分	ラック	Ico	削減率(前年度比)
コ	目標値等(選択	,					排出量(総量) t
目標値等(選択) CO2排出量(延床面積当たり) kg-CO2/m² CO2排出量(総量) その他 特記事項に内容を記載	11 际 但 寸 (医)八	.)					7万十二里(松里)
が心ず気に打住を心戦			-C 07/IE	าบ	山事項(こ)1合と	pL 単义	

1 事業所等の概要

事業所等の名称 京急EXイン 浅草橋駅前	
事 来 が 寺 の 石 柳 水 芯 L A イン (
事 業 所 番 号 A 0 6 3 2 - 0 0 2 8	
〒 1 1 1 1 - 0 0 5 3 区市町村名 東京都台東区	
事業所等の所在地町名番地 浅草橋1-27-9	
事業所等の延床面積 3,706.00 m ² 事業所等の実績年度の エネルギー使用期間 ■ 1年度分 □	1年未満
所 有 形 態 ■ 自己所有 □ 他者所有 □	
報 告 範 囲 ■ 建物の全部 □ 建物の一部(テナント) □ 建物の一部(その	他)
およな 図の まなえ 四 ☆ □ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲食)	
報告範囲の主たる用途□ 工場□ 複合施設□ その他	
にわりる神分類番方	非該当
再生可能エネルギー □ 再生可能エネルギー □ 再生可能エネルギー電 □ 証書による環境値の 利 用 状 況 □ 発電設備の設置 □ 気の受入 □ の利用	H値
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	(1)	104	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	202	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	3	2	t
	総計(④=②+③)	4	204	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当た りの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	6	54.5	$kg-CO_2/m^2$

	燃料等の)種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	排出	炭素排出量 排出量 ^{※1}
		1至次1	使用	7-12-	6	7	(3)) 8=(⑥/1000)×⑦	係数 ^⑨	(t) @=8×9×44/12
.1641.	都市ガス			Nm^3	17,770.0	45.00	799.7	0.0136	39.9
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
755	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
~(その他の買電(昼夜	。 間不明の場合を含む。)		kWh	332,518.0	9.76	3,245.4	0.4890	162.6
規則	第5条の17第3項	(の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					4,045.0		⁽¹⁾ 202.5
その	水道及び工業	用水道		m^3	4,282.0	/		0.2660	1.1
他	公共下水道			m^3	4,282.0	/		0.4000	1.7
		合 計							¹⁶ 2.9

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

			重点対策			その他対策
		対策番号	対策名		対策番号	対策名
		A404	テナントへの温暖化対策	協力依頼		
日台	織体制の整備					
 /						
r.	ネルギー等の	B106	過去のデータによる傾向			
吏 ,	用状況の把握	B107	主要設備の使用状況の打	当 <u>佐</u> —————		
_						
	運用対策					
省						
工						
ネル						
ギ						
<u>}</u>					-	
対策	設備保守対策					
					-	
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
		LIUU	11/30 11/1/11/11/11/11/11/11/11/11/11/11/11/1	<u></u>	E102	照明点灯範囲の細分化
	設備導入対策				1 2101	7110745
		II \ \=				
+ 4:		の状況	□ 目標達成した。			
実績	責年度の目標達成					
		えい はんしゅく はいない はいしゅう はいしゅう はいしゅう はいし はいし はいし はいし はい	策の目標			
5	提出年度の地球		策の目標 ■ 無			
5	提出年度の地球		無無	ランク	CO ₂	削減率(前年度比)
<u>5</u>	提出年度の地球	□ 有ベンチマー	無無			111.7.
5 	提出年度の地球 標 の 有 無	□ 有ベンチマー	無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
<u> </u>	提出年度の地球 標 の 有 無	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	無 ク区分 (延床面積当たり)		O_2/m^2 CO_2	
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
5 目 目標	提出年度の地球 標 の 有 無	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
i	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
5 	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
5 	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
5 目 目	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
5 目 目	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
5 目 目	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
5 目 目標	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
5 目 目標	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	

1 事業所等の概要

その2

事	業	所	等	の名	称	京急	急EX	イン	浦	田															
事		業	所	番	号	А	0	6	3	2	_	0	0	2	9										
						=	1	4	4		0	0	5	2	区	市	町	村:	名	東京	都大	田区			
事	業	所	等 <i>0</i>	所在	地	町夕以	名番	F 地 下	蒲田	15-:	28-	18													
事	業	所领	争の)	延床面	面積		6	,119	.00	m^2	事	業	ī等 レギ	の : 	実 á 使	績 [丿	年 刊 :		の 間		1年月	度分	[]]	年未満
所		有		形	態		自己	が	j] 他	1者月	析有												
報		告		範	囲		建物	1の全	产部] 建	物の)—‡	郭(ラ	ナ	ント	、)			建	物の)一音	阝(そ	この	他)
共口	生.4	25年	(σ)	こたる月	日次		事務	歽					商業	(施)	没(4	物质	坂)			商	業族	設(飲1	(重	
干区		10万二	リマノコ	-1-0 <i>F</i>	17 (匹		工場] 7					複合	施	没					そ	の他	<u>Į</u>			
	お	ける	細	章 業 分分 類 番	\$号	6	9	1	1	連	鎖作	と事業	美区 2	分		Ī	直営	店			加盟	店		=	非該当
再の		可育 利	とエ 用	ネルキ 状	デー 況			:可能 :設備		ルギ :置	_		再生 気の			ネル	ノギ・	一電			証書の利	による 用	5環	境佃	i値
前か				是告 内	容点																				

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=⑩×0.0258)	223	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	^② 433	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	3 2	t
	総計(④=②+③)	435	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 70.7	$kg-CO_2/m^2$

	100 C	四重社 小山	推計				劫旦	二酸化	炭素排出量
	燃料等の	種別	の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	排出 係数	排出量 ^{*1} (t)
			使用		6	7	® =(6 /1000)× 7		(t) @=8×9×44/12
-164.	都市ガス			Nm^3	12,581.0	45.00	566.1	0.0136	28.2
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
763	その他()				0.0				
	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	828,832.0	9.76	8,089.4	0.4890	405.3
規則	第5条の17第3項	(の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					[®] 8,655.5		⁽¹⁾ 433.5
その	水道及び工業	用水道		m ³	3,299.0			0.2660	0.9
他	公共下水道			m^3	3,299.0	/		0.4000	1.3
	_	合 計							¹⁶ 2.2

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

			重点対策			その他対策
		対策番号	対策名		対策番号	対策名
		A404	テナントへの温暖化対策	協力依頼		
日台	織体制の整備					
 /						
r.	ネルギー等の	B106	過去のデータによる傾向			
吏 ,	用状況の把握	B107	主要設備の使用状況の打	当 <u>佐</u> —————		
_						
	運用対策					
省						
工						
ネル						
ギ						
<u>}</u>					-	
対策	設備保守対策					
					-	
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
		LIUU	11/30 11/1/11/11/11/11/11/11/11/11/11/11/11/1	<u></u>	E102	照明点灯範囲の細分化
	設備導入対策				1 2101	7110745
		II \ \=				
+ 4:		の状況	□ 目標達成した。			
実績	責年度の目標達成					
		えい はんしゅく はいない はいしゅう はいしゅう はいしゅう はいし はいし はいし はいし はい	策の目標			
5	提出年度の地球		策の目標 ■ 無			
5	提出年度の地球		無無	ランク	CO ₂	削減率(前年度比)
<u>5</u>	提出年度の地球	□ 有ベンチマー	無無			111.7.
5 	提出年度の地球 標 の 有 無	□ 有ベンチマー	無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
<u> </u>	提出年度の地球 標 の 有 無	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	無 ク区分 (延床面積当たり)		O_2/m^2 CO_2	
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
5 目 目標	提出年度の地球 標 の 有 無	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
i	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
5 	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
5 	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
5 目 目	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	● 無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
5 目 目	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	● 無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
5 目 目	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	● 無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
5 目 目標	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	● 無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
5 目 目標	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	● 無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	

1	事業所	í筌の	概要
	# * []	ロマン	11/1/4

事業所等の名称 京急EXイン 秋葉原	
事 業 所 番 号 A 0 6 3 2 - 0 0 3 1	
〒 1 1 0 - 0 0 0 6 区市町村名東京都台東区	
事業所等の所在地町 名番地以 秋葉原2-1	
事業所等の延床面積 2,840.44 m ² 事業所等の実績年度の エネルギー使用期間 ■ 1年度分 □	1年未満
所 有 形 態 □ 自己所有 ■ 他者所有	
報 告 範 囲 ■ 建物の全部 □ 建物の一部(テナント) □ 建物の一部(その	つ他)
根 生 祭 田 の 主 な Z 田 冷 □ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲食)	
報告範囲の主たる用途□ 工場□ 複合施設□ その他	
日本標準産業分類 における細分類番号 6 9 1 1 1 連鎖化事業区分 □ 直営店 □ 加盟店 ■	非該当
再生可能エネルギー の 利 用 状 況 再生可能エネルギー 日 再生可能エネルギー電 日 証書による環境 の 利 用 状 況 日 発電設備の設置 日 気の受入 の利用	価値
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=⑩×0.0258)	(I)	58	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2	114	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	3	2	t
	総計(④=②+③)	4	116	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	6	40.1	kg-CO ₂ /m ²

Ť	<u> </u>	-四重4-2-111/	推計			1 No.	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	の	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(c) (0=8×9×44/12
.464.	都市ガス			Nm^3	8,490.1	45.00	382.1	0.0136	19.1
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
76%	その他()				0.0				
-	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	194,632.0	9.76	1,899.6	0.4890	95.2
規貝	第5条の17第3項	可場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 2,281.7		114.2
その	水道及び工業	用水道		m^3	3,565.0			0.2660	0.9
他	公共下水道			m^3	3,565.0	/		0.4000	1.4
		合 計							¹⁶ 2.4

^{※1} 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

^{※2} ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

			重点対策			その他対策
		対策番号	対策名		対策番号	対策名
		A404	テナントへの温暖化対策	協力依頼		
日台	織体制の整備					
 /						
r.	ネルギー等の	B106	過去のデータによる傾向			
吏 ,	用状況の把握	B107	主要設備の使用状況の打	当 <u>佐</u> —————		
_						
	運用対策					
省						
工						
ネル						
ギ						
<u>}</u>					-	
対策	設備保守対策					
					-	
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
		LIUU	11/30 11/1/11/11/11/11/11/11/11/11/11/11/11/1	<u></u>	E102	照明点灯範囲の細分化
	設備導入対策				1 2101	7110745
		II \ \=				
+ 4:		の状況	□ 目標達成した。			
実績	責年度の目標達成					
		えい はんしゅく はいない はいしゅう はいしゅう はいしゅう はいし はいし はいし はいし はい	策の目標			
5	提出年度の地球		策の目標 ■ 無			
5	提出年度の地球		無無	ランク	CO ₂	削減率(前年度比)
<u>5</u>	提出年度の地球	□ 有ベンチマー	無無			111.7.
5 	提出年度の地球 標 の 有 無	□ 有ベンチマー	● 無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
<u> </u>	提出年度の地球 標 の 有 無	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	● 無 ク区分 (延床面積当たり)		O_2/m^2 CO_2	
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	● 無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
5 目 目標	提出年度の地球 標 の 有 無	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	● 無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
i	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	● 無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
5 	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	● 無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
5 	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	● 無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
5 目 目	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	● 無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
5 目 目	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	● 無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
5 目 目	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	● 無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
5 目 目標	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	● 無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
5 目 目標	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	● 無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	

1	事業所等の概要
_	

事業所等の名称 京急EXイン 泉岳寺駅前	
事業所番号A0632-0032	
〒 1 0 8 - 0 0 7 3 区市町村名 東京都港区	
事業所等の所在地町 名番地 三田3-11-26	
事業所等の延床面積 2,765.79 m ² 事業所等の実績年度の エネルギー使用期間 1年度分	□ 1年未満
所 有 形 態 ■ 自己所有 □ 他者所有	
報 告 範 囲 ■ 建物の全部 □ 建物の一部(テナント) □ 建物の一部	羽(その他)
駅 生 祭 囲 の 主 な る 田 冷 □ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲食)
報告範囲の主たる用途 □ 工場 □ 複合施設 ■ その他	
日本標準産業分類 6 9 1 1 1 連鎖化事業区分 □ 直営店 □ 加盟店	■ 非該当
再生可能エネルギー の 利 用 状 況 再生可能エネルギー 日 再生可能エネルギー電 日 証書による の 利 用 状 況 の受入 の利用	る環境価値
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	(1)	62	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	122	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	3	1	t
	総計(④=②+③)	4	123	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当た りの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	(5)	44.1	$kg-CO_2/m^2$

<u> </u>		四	` 					→ ポ り #	ш⇒шы
	燃料等の	種別	推計のは出	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(C) (0)=(8)×(9)×44/12
.164.	都市ガス			Nm^3	9,152.3	45.00	411.9	0.0136	20.5
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
7773	その他()				0.0				
	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
^(その他の買電(昼夜	- 間不明の場合を含む。)		kWh	207,876.0	9.76	2,028.9	0.4890	101.7
規則	第5条の17第3項	(の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 2,440.7		122.2
その	水道及び工業	用水道		m^3	2,920.0	/		0.2660	0.8
他	公共下水道			m^3	2,920.0			0.4000	1.2
		合 計							1.9

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

			重点対策			その他対策
		対策番号	対策名		対策番号	対策名
		A404	テナントへの温暖化対策	協力依頼		
日台	織体制の整備					
 /						
r.	ネルギー等の	B106	過去のデータによる傾向			
吏 ,	用状況の把握	B107	主要設備の使用状況の打	当 <u>佐</u> —————		
_						
	運用対策					
省						
工						
ネル						
ギ						
<u>}</u>					-	
対策	設備保守対策					
					-	
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
		LIUU	11/30 11/1/11/11/11/11/11/11/11/11/11/11/11/1	<u></u>	E102	照明点灯範囲の細分化
	設備導入対策				1 2101	7110745
		II \ \=				
+ 4:		の状況	□ 目標達成した。			
実績	責年度の目標達成					
		えい はんしゅく はいない はいしゅう はいしゅう はいしゅう はいし はいし はいし はいし はい	策の目標			
5	提出年度の地球		策の目標 ■ 無			
5	提出年度の地球		無無	ランク	CO ₂	削減率(前年度比)
<u>5</u>	提出年度の地球	□ 有ベンチマー	無無			111.7.
5 	提出年度の地球 標 の 有 無	□ 有ベンチマー	● 無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
<u> </u>	提出年度の地球 標 の 有 無	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	● 無 ク区分 (延床面積当たり)		O_2/m^2 CO_2	
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	● 無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
5 目 目標	提出年度の地球 標 の 有 無	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	● 無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
i	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	● 無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
5 	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	● 無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
5 	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	● 無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
5 目 目	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	● 無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
5 目 目	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	● 無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
5 目 目	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	● 無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
5 目 目標	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	● 無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
5 目 目標	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	● 無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	

1	事業所	í筌の	概要
	 	レザッノ	11/1/4

事業所等の名称	京急EXイン 東銀座
事 業 所 番 号	A 0 6 3 2 — 0 0 3 3
	〒 1 0 4 - 0 0 4 5 区市町村名 東京都中央区
事業所等の所在地	町 名 番 地 以
事業所等の延床面積	4,349.30 m ² 事業所等の実績年度の エネルギー使用期間 ■ 1年度分 □ 1年未満
所 有 形態	■ 自己所有 □ 他者所有
報 告 範 囲	■ 建物の全部 □ 建物の一部(テナント) □ 建物の一部(その他)
却生然田の主たて田冷	□ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲食)
報告範囲の主たる用途	□ 工場 □ 複合施設 ■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1 単興化事業区分 □ 直宮店 □ 加盟店 ■ 非該当
再生可能エネルギー の 利 用 状 況	□ 再生可能エネルギー □ 再生可能エネルギー電 □ 証書による環境価値 発電設備の設置 □ 気の受入 □ の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=⑩×0.0258)	(1)	115	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	224	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	3	3	t
	総計(④=②+③)	4	227	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当た りの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	6	51.5	$kg-CO_2/m^2$

	100100001001	-四重4.01.11/	推計			元 业.	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	の 使用	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	® =(6 /1000)× 7	9	(0)=8×9×44/12
.464.	都市ガス			Nm^3	18,279.4	45.00	822.6	0.0136	41.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
77.1	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
~~	その他の買電(昼夜	- 間不明の場合を含む。)		kWh	375,792.0	9.76	3,667.7	0.4890	183.8
規貝	第5条の17第3項	可場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 4,490.3		⁽¹⁾ 224.8
その	水道及び工業	用水道		m ³	5,136.0			0.2660	1.4
他	公共下水道	-		m^3	5,136.0	/		0.4000	2.1
		合 計							3.4

^{※1} 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

^{※2} ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

			重点対策			その他対策
		対策番号	対策名		対策番号	対策名
		A404	テナントへの温暖化対策	協力依頼		
日台	織体制の整備					
 /						
r.	ネルギー等の	B106	過去のデータによる傾向			
吏 ,	用状況の把握	B107	主要設備の使用状況の打	当 <u>佐</u> —————		
_						
	運用対策					
省						
工						
ネル						
ギ						
<u>}</u>					-	
対策	設備保守対策					
					-	
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
		LIUU	11/30 11/1/11/11/11/11/11/11/11/11/11/11/11/1	<u></u>	E102	照明点灯範囲の細分化
	設備導入対策				1 2101	7110745
		II \ \=				
+ 4:		の状況	□ 目標達成した。			
実績	責年度の目標達成					
		えい はんしゅく はいない はいしゅう はいしゅう はいしゅう はいし はいし はいし はいし はい	策の目標			
5	提出年度の地球		策の目標 ■ 無			
5	提出年度の地球		無無	ランク	CO ₂	削減率(前年度比)
<u>5</u>	提出年度の地球	□ 有ベンチマー	無無			111.7.
5 	提出年度の地球 標 の 有 無	□ 有ベンチマー	● 無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
<u> </u>	提出年度の地球 標 の 有 無	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	● 無 ク区分 (延床面積当たり)		O_2/m^2 CO_2	
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	● 無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
5 目 目標	提出年度の地球 標 の 有 無	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	● 無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
i	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	● 無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
5 	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	● 無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
5 	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	● 無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
5 目 目	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
5 目 目	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
5 目 目	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
5 目 目標	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
5 目 目標	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	

1	事業所等の概要
1	ずれ川 サツル女

事	業	所	等	の名	称	第2	?林と	ジル																	
事		業	所	番	号	Α	0	6	3	2	_	0	0	3	5										
						=	1	4	0	1	0	0	0	1	区	市	町	村	名	東京都	部品川	区			
事	業	所	等 ₫	所在	地	町夕以	名番	F 地 下	北品	川1	-8-	-20													
事	業	所领	争の	延床面	面積		3	,298	.70	m^2	事	業 戸 ネ ノ	「等 レキ	の <u>:</u> 	実 á 使	漬 : 「戶	年 月 ;		の間	1	年度分	}		1年未	-満
所		有		形	態		自己	見所れ	Í		〕他	1者月	斤有												
報		告		範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)— [£]	郭(ラ	ーナ	ント	.)			〕建物	物の一	·部((その)他)	
却	生生	ニュニュニュニュニュニュニュニュニュニュニュニュニュニュニュニュニュニュニュ	ഥച	こたる月	11分		事務	所					商業	(施	没(集	勿貝	反)			〕商氵	業施設	()	(食)		
TIX							工場	<u>]</u> ガ					複合	施	没] その	の他				
	お	ける	細	ミ業 分 分類 番	争号	6	9	1	1	連	鎖化	(事)	業区2	分		Œ	[営	店		□ t	17盟店	:		非該	当
再の		可育 利	ヒエ用	ネルキ 状	デー 沢			:可能 記設備		ルギ :置	_		再生 気の			ネル	ギ	一電	Ĺ		正書に。 0利用	よるタ	環境 [·]	価値	
前か				设告内定 更	容点																				

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=⑩×0.0258)	(1)	69	kl
1	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	134	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	3	0	t
	総計(④=②+③)	4	134	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当た りの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	6	40.6	$kg-CO_2/m^2$

	燃料等の	種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	排出	炭素排出量 排出量*1
			使用		6	7	® =(6 /1000)× 7	係数 ^⑨	(t) (0=8×9×44/12
.164.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
7773	その他()				0.0				
	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
^(その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	274,697.2	9.76	2,681.0	0.4890	134.3
規則	第5条の17第3項	可場合のみなし の	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 2,681.0		134.3
その	水道及び工業	用水道		m^3	1,482.0			0.2660	0.4
他	公共下水道			m^3	1,482.0	/		0.4000	0.6
		合 計							1.0

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

	地球温暖化対策		重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
kH &	戦体制の整備				
出. 亦	取作 削り 登 浦				
	h a bi th a	B106	過去のデータによる傾向の把握		
上ノ	ネルギー等の 目状況の把握	B107	主要設備の使用状況の把握		
~ /	13 - 10 -> 10 12				
	運用対策				
省					
エ					
ネル					
ルギ					
1				D108	その他設備の定期的な保守・点検
対策	設備保守対策				
/K	isse Ma his a via via				
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
	設備導入対策			E104	照明点灯範囲の細分化
実 絹	- 賃年度の目標達成		□ 目標達成した。		
		-			
5 3	提出年度の地球				
目	標の有無	□有	無無		
		ベンチマー	-ク区分 ラン	ク CO	2削減率(前年度比)
目標	栗値等(選択)	CO ₂ 排出量	【(延床面積当たり) kg-	CO_2/m^2 CO_2	2排出量(総量) t
		その他	特記事項に内容		
			<u> </u>		
5 !					

	Transfer of the Company
1	事業所等の概要
- 1	事事川寺(八城安

事	業月	近 等	の名	称	京急	ÈΕΣ	くイン	/ 羽	习田															
事	業	所	番	号	А	0	6	3	2		0	0	3	6										
					₹	1	4	4	1	0	0	4	3	区	市	町	村。	名 ፺	東京者	都大田	区			
事	業所	等の	り所在	E 地	町。以	名番	F 地 下	羽田]5—	5-1	4													
事	業所	等の	延床面	百積		9	,300	.94	m^2	事	業	ī等 レギ	の -	実 á 使	績 [.	年 用 ‡		か 間	1	年度為	分		1年	三未満
所	7	Ī	形	態		自己	りが	有		〕他	1者月	有												
報	<u>/-</u>	片	範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)—‡	郛(ラ	ナ	ン	¬)			建物	物の-	一部	(そ)	の他)
去口	生統同	田の一	Eたる月	日次		事務	鲚					商業	き施言	没(4	物	坂)			商	業施設	殳(食	欠食)	
邗	口甲山	#I V / =	E/Ca/	17)还		工場] ガ					複合	施	没					その	の他				
	おけ	る細	E 業 分 分 類 番	肾号	6	9	1	1	連	鎖化	と事業	美区 2	分		Ī	直営	店		□ t	2011年	i		非	該当
再の	生可利	能 エ 用	ネル ^ュ 状	ギー 況			:可能 記設備		ルギ と置	_		再生 気の			ネバ	レギー	一電			正書に 0利用		環境	価値	Ī
前か			报告 内 変 更	容点																				

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	(I)	229	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	445	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	3	5	t
	総計(④=②+③)	4	450	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当た りの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	6	47.8	$kg-CO_2/m^2$

		田東 (1 4/1 11)	<u>. </u>						
	燃料等の	種別	推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	® =(6 /1000)× 7	9	(0)=(8)×(9)×44/12
.164.	都市ガス			Nm^3	33,236.5	45.00	1,495.6	0.0136	74.6
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
77.1	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
^(その他の買電(昼夜	- 間不明の場合を含む。)		kWh	758,815.0	9.76	7,406.0	0.4890	371.1
規則	第5条の17第3項	(の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					® 8,901.7		⁽¹⁾ 445.6
その	水道及び工業	用水道		m^3	8,303.0	/		0.2660	2.2
他	公共下水道			m^3	8,303.0			0.4000	3.3
		合 計							¹⁶ 5.5

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

			重点対策			その他対策
		対策番号	対策名		対策番号	対策名
		A404	テナントへの温暖化対策	協力依頼		
日台	織体制の整備					
 /						
r.	ネルギー等の	B106	過去のデータによる傾向			
吏 ,	用状況の把握	B107	主要設備の使用状況の打	当 <u>佐</u> —————		
_						
	運用対策					
省						
工						
ネル						
ギ						
<u>}</u>					-	
対策	設備保守対策					
					-	
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
		LIUU	11/30 11/1/11/11/11/11/11/11/11/11/11/11/11/1	<u></u>	E102	照明点灯範囲の細分化
	設備導入対策				1 2101	7110745
		II \ \=				
+ 4:		の状況	□ 目標達成した。			
実績	責年度の目標達成					
		えい はんしゅく はいない はいしゅう はいしゅう はいしゅう はいし はいし はいし はいし はい	策の目標			
5	提出年度の地球		策の目標 ■ 無			
5	提出年度の地球		無無	ランク	CO ₂	削減率(前年度比)
<u>5</u>	提出年度の地球	□ 有ベンチマー	無無			111.7.
5 	提出年度の地球 標 の 有 無	□ 有ベンチマー	無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
<u> </u>	提出年度の地球 標 の 有 無	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	無 ク区分 (延床面積当たり)		O_2/m^2 CO_2	
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
5 目 目標	提出年度の地球 標 の 有 無	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
i	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
5 	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
5 	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
5 目 目	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
5 目 目	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
5 目 目	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
5 目 目標	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	
5 目 目標	提出年度の地球 標 の 有 無 票値等(選択)	□ 有 ベンチマー CO ₂ 排出量	無 ク区分 (延床面積当たり)	kg-CC	O_2/m^2 CO_2	

1 事業所等の概要

その2

-	3./	\sim // \sim	.,	170																		
事	業	所《	等 0) 名	称	京急	急第	7ビ	ル													
事	第	É j	折	番	号	А	0	6	3	2	_	0	0	3	7							
	- علاد -	→r~ ko/s-			. 111.	Ŧ	1	0	8		0	0	7	4	区	市町	「村	名 東	京都	港区		
事	・美力	打 等	· (/) ,	所 在	: 地	町 : 以	名番	地下	高輪	ì4—	10-	18										
事	業別	斤等(か 延	床面	ī積		19	,629	.05	m^2		業					· 度 期	の 間	1年	=度分		1年未満
所		有	开	Ý,	態		自己	こ所で	有		□ 他	1者月	斤有									
報		告	窜	Ĺ	囲		建物	勿の金	陪全		〕 葅	物の)—‡	邪(ラ	ナ	/ト)			建物	の一章	羽(そ	の他)
共口	生, 经	i III a	\ \ \ \ \ \	こる月	日次		事彩	务所					商業	(施)	没(\$	勿販)			商業	施設(飲食)
ŦX						Ш	工場	员					複合	施	没				その	他		
	おじ	ける糸	田分	業 分 類 番	多号	6	9	1	1	連	鍾俏	と事業	業区 2	分		直包	営店		〕加	盟店		非該当
再の	生言		エ ネ 目	ルキ 状	デー 況			三可能 證設備			_		再生 気の			トルキ	一電	· [書によ. 利用	る環境	色価値
前か		度 の の	報変	告 内 更	容点																	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=⑩×0.0258)	(1)	644	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	1,251	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	3	14	t
	総計(④=②+③)	4	1,265	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当た りの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	(5)	63.7	$kg-CO_2/m^2$

	燃料等の		推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1}
			使用		6	7	® =(⑥/1000)×⑦	/ボダ ⑨	(t) @=8×9×44/12
.464.	都市ガス			Nm^3	63,178.8	45.00	2,843.0	0.0136	141.8
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
100	その他()				0.0				
	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
~~	その他の買電(昼夜	- 間不明の場合を含む。)		kWh	2,269,737.0	9.76	22,152.6	0.4890	1,109.9
規貝	第5条の17第3項	可場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 24,995.7		1,251.7
その	水道及び工業	用水道		m^3	21,369.0			0.2660	5.7
他	公共下水道			m^3	21,369.0	/		0.4000	8.5
		合 計							⁽¹⁶⁾ 14.2

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A210	外部専門家への相談依頼の実施
/H 64	外什也の故性			A401	テナントにエネルギー使用量提供
沮 稱	は体制の整備			A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
		B106	過去のデータによる傾向の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較
	ネルギー等の 月状況の把握	B107	主要設備の使用状況の把握		
文 厂	1 1/ 1/L 0/ 1L 1/E				
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C124	冷凍機等の出入口温度把握と調整
	運用対策				
省					
日 工					
ネ					
ルギ					
ì		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
策	改 佣 床 寸 刈 來	D105	換気フィルターの清掃・点検		
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
	設備導入対策			E104	照明点灯範囲の細分化
	区 畑 サバハ 水				
	 【年度の目標達成	の状況	□目標達成した。		
· (1)		- 7102			
5 ‡	是出年度の地球	温暖化素]策の 目標		
3	標の有無	□有	無無		
		ベンチマー	ク区分ランク	7 CO	2削減率(前年度比) %
目標	[値等(選択)	CO₂排出量	(延床面積当たり) kg-C	${\rm CO_2/m^2}$ CO	2排出量(総量) t
		その他	特記事項に内容を		<u> </u>
		· ·		, , .	

1 事業所等の概要

事	業房	f 等	の名	称	新馬	馬場	高架	ドトル	店舗	$\mathbf{A}(\mathbf{R})$	ミノ	ピサ	<u> </u>											
事	業	所	番	号	А	0	6	3	2	_	0	0	3	8										
					₹	1	4	0	1	0	0	0	1	区	市	町	村。	名身	巨京者	8品川	区			
事	業所	等の	所 在	地	町。以	名番	F 地 下	北品	2 ال	-16	-1													
事	業所	等の	延床面	ī 積			206	.10	m^2	事	業	「等 レギ	の : 	実 á 使	漬 : 「戶	年 月		か 間	1	年度分	宁		1年	未満
所	有	Î	形	態		自己	見所れ	自		〕他	1者原	斤有												
報	겉	i	範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)— [₽]	郭(ラ	ナ	ント	.)			建物	勿の一	-部	(その	つ他)	
七口	生 薪 田	日のう	こたる月	日之		事務	鲚					商業	(施)	没(集	刎	反)			商氵	集施 韵	분(飮	(食)		
干区	ㅁ 뿌뜨건	ロマノコ	ニ/こる/	口还		工場] ガ					複合	施	没					その	つ他				
	おける	る細っ	至業分類	子号	6	9	1	1	連	鎖化	(事業	業区2	分		Œ	[営	店	[口 力	中盟店	î		非詞	亥当
再の	生可利	能 エ 用	ネルキ 状	デー 況			:可能 記設備		ルギ :置	_		再生 気の			ネル	ギー	一電	[E書に.)利用	よる!	環境	価値	
前か			设告内 変 更	容点																				

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=⑩×0.0258)	19	kl
1	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 38	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	3 0	t
	総計(④=②+③)	4 38	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当た りの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 184.3	$kg-CO_2/m^2$

	·	-四重社。21.11/	推計	277.11	使用量	係数	熱量	二酸化 排出	炭素排出量 排出量 ^{※1}
	燃料等の	種別	使用	単位	(C/I) 重 (G)	©	(GJ) 8=(6/1000)×⑦	係数	プトロ1里 (t) ⑩=®×⑨×44/12
	都市ガス			Nm ³	9,665.6	45.00	435.0	0.0136	21.7
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
777.	その他()				0.0				
	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	34,551.0	9.76	337.2	0.4890	16.9
規貝	第5条の17第3項	〔の場合のみなしん	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					[®] 772.2		38.6
その	水道及び工業	用水道		m^3	549.0			0.2660	0.1
他	公共下水道			m ³	549.0	/		0.4000	0.2
		合 計							0.4

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

日 織 体 制 の 整 備 E 1 ネルギー等の 表 用 対 策 選 用 対 策 設 備 保 守 対 策 設 備 保 守 対 策 と 設 備 保 守 対 策 と 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表				重点対策		その他対策
日 織 体 制 の 整 備 E 1 ネルギー等の 表 用 対 策 選 用 対 策 設 備 保 守 対 策 設 備 保 守 対 策 と 設 備 保 守 対 策 と 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表			対策番号	対策名	対策番号	対策名
正 ネルギー等の 使用状況の把握 選用 対策 選用 対策 認備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内) 設備導入対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E104 照明点灯範囲の細分化 と該律年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ペンチマーク区分 ランク CO。排減率(前年度比) 目標値等(選択) CO。排出量(延床面積当たり) その他 特記事項に内容を記載			A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
正 ネルギー等の 使用状況の把握 選用 対策 選用 対策 認備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内) 設備導入対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E104 照明点灯範囲の細分化 と該律年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ペンチマーク区分 ランク CO。排減率(前年度比) 目標値等(選択) CO。排出量(延床面積当たり) その他 特記事項に内容を記載	⁄□ 4	か 仕 知 の 畝 (些				
正 ネルギー等の 東 用 対 策	丑 作	戦性制の整備				
正 ネルギー等の 東 用 対 策						
度用状況の把握 (著文ネルギー 対策 設備保守対策 (正))	B106	過去のデータによる傾向の把握		
選用対策 世紀			B107	主要設備の使用状況の把握		
音		11 100 100 00 100 100 100				
音						
音						
音						
音						
世界 (大学) 1		運用対策				
世界 (大学) 1	省					
ルギー 対策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内) 設備導入対策 E摘年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 「ランク CO₂削減率(前年度比) 「CO₂排出量(延床而積当たり) kg-CO₂/m² CO₂排出量(総量) その他 特記事項に内容を記載	エ					
ま () 表 () 和 (
設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内) E104 照明点灯範囲の細分化 E104 E104	ギ					
策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内) 設備導入対策 E積年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□有■無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比) にO₂排出量(延床面積当たり) kg-CO₂/m² CO₂排出量(総量) その他 特記事項に内容を記載						
E103 高効率照明器具の採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内) E104 照明点灯範囲の細分化 E104 原列点灯範囲の細分化 E104 原列点灯කー E104 原列点列点列点列流列点列点列点列点列点列点列点列点列点列点列点列点列点列点列点列	対等	設備保守対策				
設備導入対策 注稿年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 標の有無□ 有 ■ 無	×	ESC MIN EL. 3 3/4 3/4				
設備導入対策 注稿年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 標の有無□ 有 ■ 無						
設備導入対策 正義年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標			E103	高効率照明器具の採用(屋内)		
5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO₂排出量(延床而積当たり) kg-CO₂/m² CO₂排出量(総量) その他 特記事項に内容を記載		設備導入対策			E104	照明点灯範囲の細分化
5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO₂排出量(延床而積当たり) kg-CO₂/m² CO₂排出量(総量) その他 特記事項に内容を記載						
5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO₂排出量(延床而積当たり) kg-CO₂/m² CO₂排出量(総量) その他 特記事項に内容を記載						
5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO₂排出量(延床面積当たり) kg-CO₂/m² CO₂排出量(総量) その他 特記事項に内容を記載						
目標の有無□ 有 無 □ 有 無 無 無	実績	 	の状況	□目標達成した。		
マンチマーク区分 ランク CO2削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO2排出量(延床面積当たり) kg-CO2/m² CO2排出量(総量) その他 特記事項に内容を記載						
目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量) その他 特記事項に内容を記載	5 3	提出年度の地球	^え 温暖化丸	対策の目標		
その他特記事項に内容を記載	5 3	提出年度の地球	ネ温暖化丸 □ 有	 第		
	5 3	提出年度の地球		対策の目標 ■ 1無 ク区分 ランク		
5 特記事項	5 目	提出年度の地球 標 の 有 無		対策の目標 ■ 1無 ク区分 ランク		
3. 特記事項	5 3	提出年度の地球 標 の 有 無		†策の目標 ■ 無 - ク区分 ランク - (延床面積当たり) kg-Cd	O_2/m^2 CO_2	
, 14 to 1. V	5 3	提出年度の地球 標 の 有 無		†策の目標 ■ 無 - ク区分 ランク - (延床面積当たり) kg-Cd	O_2/m^2 CO_2	
	5 · 3 目 目標	提出年度の地球 標 の 有 無		†策の目標 ■ 無 - ク区分 ランク - (延床面積当たり) kg-Cd	O_2/m^2 CO_2	
	5 · 3 目 目標	提出年度の地球標の 有 無 標の 有 無 原値等(選択)		†策の目標 ■ 無 - ク区分 ランク - (延床面積当たり) kg-Cd	O_2/m^2 CO_2	
	5 · 3 目 目標	提出年度の地球標の 有 無 標の 有 無 原値等(選択)		†策の目標 ■ 無 - ク区分 ランク - (延床面積当たり) kg-Cd	O_2/m^2 CO_2	
	5 · 3 目 目標	提出年度の地球標の 有 無 標の 有 無 原値等(選択)		†策の目標 ■ 無 - ク区分 ランク - (延床面積当たり) kg-Cd	O_2/m^2 CO_2	
	5 · 3 目 目標	提出年度の地球標の 有 無 標の 有 無 原値等(選択)		†策の目標 ■ 無 - ク区分 ランク - (延床面積当たり) kg-Cd	O_2/m^2 CO_2	
	5 · 3 目 目標	提出年度の地球標の 有 無 標の 有 無 原値等(選択)		†策の目標 ■ 無 - ク区分 ランク - (延床面積当たり) kg-Cd	O_2/m^2 CO_2	
	5 <u>3</u> 目	提出年度の地球標の 有 無 標の 有 無 原値等(選択)		†策の目標 ■ 無 - ク区分 ランク - (延床面積当たり) kg-Cd	O_2/m^2 CO_2	
	5 <u>3</u> 目	提出年度の地球標の 有 無 標の 有 無 原値等(選択)		†策の目標 ■ 無 - ク区分 ランク - (延床面積当たり) kg-Cd	O_2/m^2 CO_2	
	5 <u>;</u> 目 目標	提出年度の地球標の 有 無 標の 有 無 原値等(選択)		†策の目標 ■ 無 - ク区分 ランク - (延床面積当たり) kg-Cd	O_2/m^2 CO_2	
	5 <u>;</u> 目 目標	提出年度の地球標の 有 無 標の 有 無 原値等(選択)		†策の目標 ■ 無 - ク区分 ランク - (延床面積当たり) kg-Cd	O_2/m^2 CO_2	

1	事業所	等の	概要
_	- オーバー	11	190

その2

事	業月	斤 等	の名	称	京急	ÈΕΣ	くイン	/ /	て門															
事	業	所	番	号	А	0	6	3	2		0	0	3	9										
Γ.					Ŧ	1	0	5		0	0	1	2	区	市	町	村。	名身	東京者	『港区				
事	業所	等の) 所 右	E 地	町 以	名番	地 下	大門		15—														
事	業所	等の	延床面	面積		2	,961	.26	m^2	事 3	業	ī等 レギ	の : 	実 約 使	漬 [月	年 <i>,</i> 目	度り	り 間	1:	年度分	}		1年	未満
所	7	Ī	形	態		自己	引所で	肓] 他	1者月	析有												
報	<u>/</u>	E.	範	囲		建物	カの全	全部		〕建	物の)—‡	郭(ラ	ーナン	ント	.)			建物	勿の一	·部	(その	つ他))
去口	生 銘 [田の主	Eたる月	日次		事務	鲚					商業	(施	没(4	物具	反)			商美		분(飮	(食)		
邗	口里山	田 マクヨ	E/C3/	17)还		工場] ガ					複合	施	没					その)他				
	おけ	る細っ	産業 分 分類 都	肾号	6	9	1	1	連	鎮化	と事業	美区 2	分		Ē	直営	店	[口 力	1盟店	i		非語	該当
再の	生可	能 エ 用	ネル ^は 状	ギー 況			:可能 記設備		ルギ :置	_		再生 気の			ネル	ギー	-電	[E書に。)利用	よるタ	環境	価値	
前か			设告 卢 変 更	容点																				

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=⑩×0.0258)	(1)	89	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2	173	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	3	2	t
	総計(④=②+③)	4	175	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	6	58.4	$kg-CO_2/m^2$

	·	·在山	推計	出任	使用量	係数	熱量	二酸化 排出	炭素排出量 排出量 ^{※1}
	燃料等の	· (種別	使用	単位	6	7	(GJ) ®=(⑥/1000)×⑦	係数	(t) (@=8×9×44/12
797	都市ガス			Nm^3	11,336.9	45.00	510.2	0.0136	25.4
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
753	その他()				0.0				
	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
~~	その他の買電(昼夜	- 間不明の場合を含む。)		kWh	303,467.0	9.76	2,961.8	0.4890	148.4
規則	第5条の17第3項	可場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 3,472.0		⁽¹⁾ 173.8
その	水道及び工業	用水道		m^3	3,188.0			0.2660	0.8
他	公共下水道			m^3	3,188.0	/		0.4000	1.3
		合 計							2.1

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

田	A404		地球温暖化対策		重点対策			その他対策
組織体制の整備	組織 体制 の整備 B106 過去のデータによる傾向の把握 B107 主要設備の使用状況の把握 運用 対 策 電用 対 策 D104 空調フィルターの清掃・点検 設備 保守 対策 設備 保守 対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E101 高効率照明ランプの採用(屋内) E114 高効率パッケージの採用 E125 高輝度誘導灯の導入 E104 照明点灯範囲の細分化 E106 照明用入感センサの採用 実績年度の目標達成の状況 国目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO。削減率(前年度比) その他 特記事項に内容を記載			対策番号	対策名		対策番号	対策名
田 大 次 の 把握 B106 過去のデータによる傾向の把握 E要設備の使用状況の把握 E要設備の使用状況の把握 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E101 高効率照明ランプの採用(屋内) E101 高効率照明ランプの採用(屋内) E104 照明点灯範囲の細分化 E104 照明点灯範囲の細分化 E105 照明用人感センサの採用 E105 照明用人感センサの採用 E105 無明度影導灯の導入 E104 により 医105 照明用人感センサの採用 E105 により により 医105 原明用人感センサの採用 E105 原明用人感センサの採用 E105 原明用人感センサの採用 E1で E1の E105 原明用人感センサの採用 E1で E1の E105 原明用人感センサの採用 E1で	田			A404	テナントへの温暖化対策協力体	対		
田 大 次 の 把握 B106 過去のデータによる傾向の把握 E要設備の使用状況の把握 E要設備の使用状況の把握 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E101 高効率照明ランプの採用(屋内) E101 高効率照明ランプの採用(屋内) E104 照明点灯範囲の細分化 E104 照明点灯範囲の細分化 E105 照明用人感センサの採用 E105 照明用人感センサの採用 E105 無明度影導灯の導入 E104 により 医105 照明用人感センサの採用 E105 により により 医105 原明用人感センサの採用 E105 原明用人感センサの採用 E105 原明用人感センサの採用 E1で E1の E105 原明用人感センサの採用 E1で E1の E105 原明用人感センサの採用 E1で	田	ke k	* 休 知 の 軟 借					
正 ネルギー等の 使用状況の把握 運用対策 選用対策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E101 高効率照明ランプの採用(屋内) 設備導入対策 E103 高効率系ッケージの採用 E125 高輝度誘導灯の導入 E104 照明点灯範囲の細分化 E105 照明用人感センサの採用 E105 照明用人感センサの採用 E1位 照明点灯範囲の細分化 E105 に関明に対象を対した。 表徴年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無	正 ネルギー 等の 使用 状 況の 把握 運用 対 策 (1)	PD. N	似件的 少症 佣					
正 ネルギー等の 使用状況の把握 運用対策 選用対策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E101 高効率照明ランプの採用(屋内) 設備導入対策 E103 高効率系ッケージの採用 E125 高輝度誘導灯の導入 E104 照明点灯範囲の細分化 E105 照明用人感センサの採用 E105 照明用人感センサの採用 E1位 照明点灯範囲の細分化 E105 に関明に対象を対した。 表徴年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無	正 ネルギー 等の 使用 状 況の 把握 運用 対 策 (1)							
度用状況の把握 選用対策 道工ネルルギー 対策 設備保守対策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E101 高効率照明ランブの採用(屋内) E114 高効率パッケージの採用 E125 高輝度誘導灯の導入 E104 照明点灯範囲の細分化 E105 照明用人感センサの採用 E105 照明用人感センサの採用 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比) CO₂排出量(総床面積当たり) kg-CO₂/m² CO₂排出量(総般)	使用状況の把握 選用対策 1	·	シュゼ 然の	B106	過去のデータによる傾向の把握	ē.		
選用対策	選用対策			B107	主要設備の使用状況の把握			
省エネルルギー 対策	省立 ネルギー対策	_						
省エネルルギー 対策	省 エネルギー 対策							
省エネルルギー 対策	省 エネルギー 対策							
省エネルルギー 対策	省立 ネルギー対策							
省エネルルギー 対策	省立 ネルギー対策							
正 ネルルギー カオ策	正 ネルル		運用対策					
ネルギー対策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E101 高効率照明ランプの採用(屋内) 設備導入対策 E114 高効率パッケージの採用 E125 高輝度誘導灯の導入 E104 照明点灯範囲の細分化 E105 照明用人感センサの採用 表練年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 基出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO₂排出量(経床面積当たり) kg-CO₂/m² CO₂排出量(総量)	ネルギー 対策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E101 高効率照明ランプの採用(屋内) 設備導入対策 E114 高効率パッケージの採用 E125 高輝度誘導灯の導入 E104 照明点灯範囲の細分化 E105 照明用人感センサの採用 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比) 「ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比) その他 特記事項に内容を記載	省						
ルボー 対策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E101 高効率照明ランプの採用(屋内) 設備導入対策 E114 高効率パッケージの採用 E125 高輝度誘導灯の導入 E104 照明点灯範囲の細分化 E105 照明用人感センサの採用 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比) にO₂排出量(延床面積当たり) kg-CO₂/m² CO₂排出量(総量)	ルギー対策	エ						
ま D104 空調フィルターの清掃・点検 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E101 高効率照明ランプの採用(屋内) E114 高効率パッケージの採用 E125 高輝度誘導灯の導入 E104 照明点灯範囲の細分化 E105 照明用人感センサの採用 基出年度の目標達成の状況 日標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無口有無 「大ジチマーク区分」 ランク	ぎ							
対策 設備保守対策	対策 設備保守対策	ギ						
 策 設備保守対策 	 策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E101 高効率照明ランプの採用(屋内) E104 高効率パッケージの採用 E125 高輝度誘導灯の導入 E104 照明点灯範囲の細分化 E105 照明用人感センサの採用 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比) CO₂排出量(延床面積当たり) kg-CO₂/m² CO₂排出量(総量) その他 特記事項に内容を記載 						D104	空調フィルターの清掃・点検
E103 高効率照明器具の採用(屋内) E101 高効率照明ランプの採用(屋内) E114 高効率パッケージの採用 E125 高輝度誘導灯の導入 E104 照明点灯範囲の細分化 E105 照明用人感センサの採用 E105 照明用人感センサの採用 E105 に	E103 高効率照明器具の採用(屋内) E101 高効率照明ランプの採用(屋内) E114 高効率パッケージの採用 E125 高輝度誘導灯の導入 E104 照明点灯範囲の細分化 E105 照明用人感センサの採用 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比) CO₂排出量(延床面積当たり)		設備保守対策					
設備導入対策	設備導入対策	//\						
設備導入対策	設備導入対策			F100	古典表面中の日の校田/日本)		F101	古典本四四字、ぱの板田(日本)
設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 E105 照明用人感センサの採用 E104 原明点灯範囲の細分化 E105 原明用人感センサの採用 E104 原明点灯範囲の細分化 E105 原明用人感センサの採用 E106 提出 E105 原明用人感センサの採用 E106 原列 E106 原列 E107 を202 を202 を202 を202 を202 を202 を202 を2	設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 E105 照明用人感センサの採用 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m² CO ₂ 排出量(総量) その他 特記事項に内容を記載							
実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□有 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO₂排出量(延床面積当たり) kg-CO₂/m² CO₂排出量(総量)	実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無 無 ベンチマーク区分 (CO₂排出量(延床面積当たり) ランク (CO₂排出量(総量)) CO₂排出量(総量) その他 特記事項に内容を記載		設備導入対策	E114	高効率パッケーンの採用			
実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)	実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO₂排出量(延床面積当たり) kg-CO₂/m² CO₂排出量(総量) その他 特記事項に内容を記載							
5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)	5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m² CO ₂ 排出量(総量) その他 特記事項に内容を記載						E105	思り用人感ピンリの採用
5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)	5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m² CO ₂ 排出量(総量) その他 特記事項に内容を記載	実績	責年度の目標達成	の状況	□ 目標達成した。			
目標の有無□ 有 無 無 無	目標の有無□ 有■無 無							
ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m² CO ₂ 排出量(総量)	インチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO₂排出量(延床面積当たり) kg-CO₂/m² CO₂排出量(総量) その他 特記事項に内容を記載							
目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)	目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量) その他 特記事項に内容を記載	<u>目</u>	標の有無	□有				
	その他特記事項に内容を記載			ベンチマー				
その他特記事項に内容を記載	<u> </u>	目標	票値等(選択)	CO ₂ 排出量	(延床面積当たり)	kg-CO ₂	$_{2}/\mathrm{m}^{2}$ CO ₂	z排出量(総量) t
<u> </u>	6 特記事項			その他	特記事項に内	可容を言	己載	
	3 特記事項							
		3 !	特記事項					
		3 <i>!</i>	特記事項					
		3 ÷	特記事項					
		<u></u> 6 4	特記事項					
		<u></u>	特記事項					
		6 :	特記事項					
		6 :	特記事項					
		<u>6</u>	特記事項					
		6 :	特記事項					
		6 :	特記事項					

1	事業所等	この無更
	- ザボバハマ	トリノルルマ

事	業月	斤 等	の名	称	京急	ÈΕΣ	スイン	/ ゲ	で守って	稲荷	1													
事	業	所	番	号	А	0	6	3	2		0	0	4	0										
					₹	1	4	4		0	0	4	3	区	市	町	村。	名 ፺	東京都	都大日	国区			
事	業所	等の	所 在	: 地	町 ³ 以	名番	* 地 下	羽田	14-	14-	4													
事	業所	等の	延床面	面積		3	,216	.05	m^2	事	業 求 ル	ī等 レギ	の -	実 á 使	績 [丿	年 用 ‡		か 間	1	年度	分] 1	年未満
所	7	Ī	形	態		自己	2所7	育] 他	1者所	有												
報	<i>-</i>	<u> </u>	範	囲		建物	物の含	全部		〕建	物の)—‡	郛(ラ	ナ	ント	¬)			建:	物の-	一部	(そ	の作	也)
去口	生 銘 [田のう	Eたる月	日之		事務	新					商業	き施言	没(4	刎	坂)			商	業施	没(食	次食	:)	
邗	口里山	出マクヨ	ピルクア	17 区		工場	<u>コ</u> ガ					複合	施	没					そ(の他				
	おけ	る細っ	産業分類	争号	6	9	1	1	連	鎮化	(事業	美区 2	分		Ī	直営	店			加盟/	吉		■ ∌	丰該当
再の	生 可 利	能 エ 用	ネルキ 状	デー 況			:可能 記設備			_		再生 気の			ネル	レギー	一電			証書に の利用		環切	竟価	値
前 か			设告内 変 更	容点																				

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=⑩×0.0258)	(1)	174	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2	337	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	3	3	t
	総計(④=②+③)	4	340	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5	104.7	kg-CO ₂ /m ²

	燃料等の種別		推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	排出	炭素排出量 排出量 ^{*1}
			使用		6	7	® =(6 /1000)× 7	係数 ^⑨	(t) @=8×9×44/12
.464.	都市ガス			Nm^3	68,358.9	45.00	3,076.2	0.0136	153.4
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
775	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
~~	その他の買電(昼夜	- 間不明の場合を含む。)		kWh	376,104.0	9.76	3,670.8	0.4890	183.9
規則	第5条の17第3項	可場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 6,746.9		⁽¹⁵⁾ 337.3
その	水道及び工業	用水道		m ³	5,433.0			0.2660	1.4
他	公共下水道			m^3	5,433.0	/		0.4000	2.2
		合 計							¹⁶ 3.6

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

田	A404		地球温暖化対策		重点対策			その他対策
組織体制の整備	組織 体制 の整備 B106 過去のデータによる傾向の把握 B107 主要設備の使用状況の把握 運用 対 策 電用 対 策 D104 空調フィルターの清掃・点検 設備 保守 対策 設備 保守 対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E101 高効率照明ランプの採用(屋内) E114 高効率パッケージの採用 E125 高輝度誘導灯の導入 E104 照明点灯範囲の細分化 E106 照明用入感センサの採用 実績年度の目標達成の状況 国目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO。削減率(前年度比) その他 特記事項に内容を記載			対策番号	対策名		対策番号	対策名
田 大 次 の 把握 B106 過去のデータによる傾向の把握 E要設備の使用状況の把握 E要設備の使用状況の把握 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E101 高効率照明ランプの採用(屋内) E101 高効率照明ランプの採用(屋内) E104 照明点灯範囲の細分化 E104 照明点灯範囲の細分化 E105 照明用人感センサの採用 E105 照明用人感センサの採用 E105 無明度影導灯の導入 E104 により 医105 照明用人感センサの採用 E105 により により 医105 原明用人感センサの採用 E105 原明用人感センサの採用 E105 原明用人感センサの採用 E1で E1の E105 原明用人感センサの採用 E1で E1の E105 原明用人感センサの採用 E1で	田			A404	テナントへの温暖化対策協力体	対		
田 大 次 の 把握 B106 過去のデータによる傾向の把握 E要設備の使用状況の把握 E要設備の使用状況の把握 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E101 高効率照明ランプの採用(屋内) E101 高効率照明ランプの採用(屋内) E104 照明点灯範囲の細分化 E104 照明点灯範囲の細分化 E105 照明用人感センサの採用 E105 照明用人感センサの採用 E105 無明度影導灯の導入 E104 により 医105 照明用人感センサの採用 E105 により により 医105 原明用人感センサの採用 E105 原明用人感センサの採用 E105 原明用人感センサの採用 E1で E1の E105 原明用人感センサの採用 E1で E1の E105 原明用人感センサの採用 E1で	田	ke k	* 休 知 の 軟 借					
正 ネルギー等の 使用状況の把握 運用対策 選用対策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E101 高効率照明ランプの採用(屋内) 設備導入対策 E103 高効率系ッケージの採用 E125 高輝度誘導灯の導入 E104 照明点灯範囲の細分化 E105 照明用人感センサの採用 E105 照明用人感センサの採用 E1位 照明点灯範囲の細分化 E105 に関明に対象を対した。 表徴年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無	正 ネルギー 等の 使用 状 況の 把握 運用 対 策 (1)	PIL III	似件的 少症 佣					
正 ネルギー等の 使用状況の把握 運用対策 選用対策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E101 高効率照明ランプの採用(屋内) 設備導入対策 E103 高効率系ッケージの採用 E125 高輝度誘導灯の導入 E104 照明点灯範囲の細分化 E105 照明用人感センサの採用 E105 照明用人感センサの採用 E1位 照明点灯範囲の細分化 E105 に関明に対象を対した。 表徴年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無	正 ネルギー 等の 使用 状 況の 把握 運用 対 策 (1)							
度用状況の把握 選用対策 道工ネルルギー 対策 設備保守対策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E101 高効率照明ランブの採用(屋内) E114 高効率パッケージの採用 E125 高輝度誘導灯の導入 E104 照明点灯範囲の細分化 E105 照明用人感センサの採用 E105 照明用人感センサの採用 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比) CO₂排出量(総床面積当たり) kg-CO₂/m² CO₂排出量(総般)	使用状況の把握 選用対策 1	·	シュゼ 然の	B106	過去のデータによる傾向の把握	ē.		
選用対策	選用対策			B107	主要設備の使用状況の把握			
省エネルルギー 対策	省立 ネルギー対策	_						
省エネルルギー 対策	省 エネルギー 対策							
省エネルルギー 対策	省 エネルギー 対策							
省エネルルギー 対策	省立 ネルギー対策							
省エネルルギー 対策	省立 ネルギー対策							
正 ネルルギー カオ策	正 ネルル		運用対策					
ネルギー対策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E101 高効率照明ランプの採用(屋内) 設備導入対策 E114 高効率パッケージの採用 E125 高輝度誘導灯の導入 E104 照明点灯範囲の細分化 E105 照明用人感センサの採用 表練年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 基出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO₂排出量(経床面積当たり) kg-CO₂/m² CO₂排出量(総量)	ネルギー 対策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E101 高効率照明ランプの採用(屋内) 設備導入対策 E114 高効率パッケージの採用 E125 高輝度誘導灯の導入 E104 照明点灯範囲の細分化 E105 照明用人感センサの採用 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比) 「ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比) その他 特記事項に内容を記載	省						
ルボー 対策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E101 高効率照明ランプの採用(屋内) 設備導入対策 E114 高効率パッケージの採用 E125 高輝度誘導灯の導入 E104 照明点灯範囲の細分化 E105 照明用人感センサの採用 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比) にO₂排出量(延床面積当たり) kg-CO₂/m² CO₂排出量(総量)	ルギー対策	エ						
ま D104 空調フィルターの清掃・点検 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E101 高効率照明ランプの採用(屋内) E114 高効率パッケージの採用 E125 高輝度誘導灯の導入 E104 照明点灯範囲の細分化 E105 照明用人感センサの採用 基出年度の目標達成の状況 日標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無口有無 「大ジチマーク区分」 ランク	ぎ							
対策 設備保守対策	対策 設備保守対策	ギ						
 策 設備保守対策 	 策 設備保守対策 E103 高効率照明器具の採用(屋内) E101 高効率照明ランプの採用(屋内) E104 高効率パッケージの採用 E125 高輝度誘導灯の導入 E104 照明点灯範囲の細分化 E105 照明用人感センサの採用 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比) CO₂排出量(延床面積当たり) kg-CO₂/m² CO₂排出量(総量) その他 特記事項に内容を記載 						D104	空調フィルターの清掃・点検
E103 高効率照明器具の採用(屋内) E101 高効率照明ランプの採用(屋内) E114 高効率パッケージの採用 E125 高輝度誘導灯の導入 E104 照明点灯範囲の細分化 E105 照明用人感センサの採用 E105 照明用人感センサの採用 E105 に	E103 高効率照明器具の採用(屋内) E101 高効率照明ランプの採用(屋内) E114 高効率パッケージの採用 E125 高輝度誘導灯の導入 E104 照明点灯範囲の細分化 E105 照明用人感センサの採用 実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比) CO₂排出量(延床面積当たり)		設備保守対策					
設備導入対策	設備導入対策	//\						
設備導入対策	設備導入対策			F100	古典表面中の日の校田/日本)		F101	古典本四四字、ぱの板田(日本)
設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 E105 照明用人感センサの採用 E104 原明点灯範囲の細分化 E105 原明用人感センサの採用 E104 原明点灯範囲の細分化 E105 原明用人感センサの採用 E106 提出 E105 原明用人感センサの採用 E106 原列 E106 原列 E107 を202 を202 を202 を202 を202 を202 を202 を2	設備導入対策 E104 照明点灯範囲の細分化 E105 照明用人感センサの採用 E104 に E105 照明用人感センサの採用 E104 に E105							
実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□有 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO₂排出量(延床面積当たり) kg-CO₂/m² CO₂排出量(総量)	実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無 無 ベンチマーク区分 (CO₂排出量(延床面積当たり) ランク (CO₂排出量(総量)) CO₂排出量(総量) その他 特記事項に内容を記載		設備導入対策	E114	高効率パッケーンの採用			
実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)	実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。 5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目標の有無□ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO₂排出量(延床面積当たり) kg-CO₂/m² CO₂排出量(総量) その他 特記事項に内容を記載							
5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)	5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m² CO ₂ 排出量(総量) その他 特記事項に内容を記載						E105	思り用人感ピンリの採用
5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)	5 提出年度の地球温暖化対策の目標 目 標 の 有 無 □ 有 ■ 無 ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m² CO ₂ 排出量(総量) その他 特記事項に内容を記載	実績	責年度の目標達成	の状況	□ 目標達成した。			
目標の有無□ 有 無 無 無	目標の有無□ 有■無 無							
ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m² CO ₂ 排出量(総量)	インチマーク区分 ランク CO₂削減率(前年度比) 目標値等(選択) CO₂排出量(延床面積当たり) kg-CO₂/m² CO₂排出量(総量) その他 特記事項に内容を記載							
目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)	目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量) その他 特記事項に内容を記載	<u>目</u>	標の有無	□有				
	その他特記事項に内容を記載			ベンチマー				
その他特記事項に内容を記載	<u> </u>	目標	票値等(選択)	CO ₂ 排出量	(延床面積当たり)	kg-CO ₂	$_{2}/\mathrm{m}^{2}$ CO ₂	z排出量(総量) t
<u> </u>	6 特記事項			その他	特記事項に内	可容を言	己載	
	3 特記事項							
		3 !	特記事項					
		3 <i>!</i>	特記事項					
		3 ÷	特記事項					
		<u></u> 6 4	特記事項					
		<u></u>	特記事項					
		6 :	特記事項					
		6 :	特記事項					
		<u>6</u>	特記事項					
		6 :	特記事項					
		6 :	特記事項					

1 事業所等の概要

その2

事	業	新	等	の名	称	京急	急EΣ	くイン	/	東京	• 日 =	本橋													
事		業	所	番	号	А	0	6	3	2	_	0	0	4	1										
						=	1	0	3		0	0	2	5	区	市	町	村	名	東京	都中兒	中区			
事	業	所	等 ₫	所 在	土地	町夕以	名番	F 地 下	日本	橋茅	場町	2-4	4-8												
事	業	所等	争の.	延床面	面積		3	,539	.64	m^2	事	業	「等 レギ	の <u>:</u> -	実 <i>終</i> 使	漬 : 	年] j		の間		1年度	分] 1	年未満
所		有	•	形	態		自己	見所れ	自] 他	1者原	斤有												
報		告		範	囲		建物	カの全	部分		〕建	物の)— [£]	郭(ラ	ナ	ント)			〕建	物の	一部	3(そ	の(也)
去口	生。	给 田	I Ø T	三たる月	日次		事務	所					商業	(施	没(集	勿則	夏)			〕商	業施	設(的	飲食	<u>;</u>)	
干区							工場	<u>司</u> 扩					複合	施	没					そ	の他				
	お	ける	細	 業 分 分類 番	争号	6	9	1	1	連	鎖作	(事業	業区2	分		直	〔営	店			加盟	店		I ∌	非該当
再の		可育 利	ピエ 用	ネルキ 状	デー 沢			:可能 記設備			_		再生 気の			ネル	ギー	一電	Ĺ		証書に		環境	竟価	値
前か				设告内 变 更	容点																				

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=⑩×0.0258)	(1)	101	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	197	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	3	2	t
	総計(④=②+③)	4	199	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当た りの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5	55.6	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の種別		推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	排出	炭素排出量 排出量 ^{※1}
			使用		6	7	® =(6 /1000)× 7	係数 ^⑨	(t) @=8×9×44/12
.464.	都市ガス			Nm^3	15,665.2	45.00	704.9	0.0136	35.2
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
77.1	その他()				0.0				
	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
~~	その他の買電(昼夜	- 間不明の場合を含む。)		kWh	331,591.0	9.76	3,236.3	0.4890	162.1
規貝	第5条の17第3項	可場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 3,941.3		⁽¹⁾ 197.3
その	水道及び工業	用水道		m^3	3,762.0			0.2660	1.0
他	公共下水道	-		m^3	3,762.0	/		0.4000	1.5
		合 計							2.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼		
紀 総	職体制の整備				
, e.e. / °					
エン	ネルギー等の	B106	過去のデータによる傾向の把握		
更丿	用状況の把握	B107	主要設備の使用状況の把握		
				-	
	運用対策				
	/13 /13 /1				
省工					
ネ					
ルギ					
1				D104	空調フィルターの清掃・点検
対第	設備保守対策				
水					
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
	設備導入対策	E114	高効率パッケージの採用	E125	高輝度誘導灯の導入
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
実績	責年度の目標達成	の状況	□ 目標達成した。		
	提出年度の地球				
目	標の有無		無	Ι	W124 #
	re had help (North North No	ベンチマー			2削減率(前年度比)
日標	原値等(選択)				2排出量(総量)
		その他	特記事項に内容を	:記載	
	特記事項				

1	事業所等の概要
_	

事業所等の名称	京急EXイン 羽田イノベーションシティ
事 業 所 番 号	A 0 6 3 2 — 0 0 4 2
	〒 1 4 4 - 0 0 4 1 区市町村名 東京都大田区
事業所等の所在地	町 名 番 地 以 下 羽田空港1-1-4
事業所等の延床面積	8,459.00 m ² 事業所等の実績年度の エネルギー使用期間 □ 1年度分 ■ 1年未満
所 有 形態	■ 自己所有 □ 他者所有
報 告 範 囲	■ 建物の全部 □ 建物の一部(テナント) □ 建物の一部(その他)
却生祭田の主たて田冷	□ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲食)
報告範囲の主たる用途 	□ 工場 □ 複合施設 ■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	
再生可能エネルギー の 利 用 状 況	□ 再生可能エネルギー □ 再生可能エネルギー電 □ 証書による環境価値 発電設備の設置 □ 気の受入 □ の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	(I)	245	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	476	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	3	1	t
	総計(④=②+③)	4	477	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当た りの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	6	56.2	$kg-CO_2/m^2$

Ť			推計				熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	の	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	® =(6 /1000)× 7		(t) (0=8×9×44/12
-1641.	都市ガス			Nm^3	13,503.1	45.00	607.6	0.0136	30.3
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
200	その他()				0.0				
	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	912,907.0	9.76	8,910.0	0.4890	446.4
規則	第5条の17第3項	[の場合のみなし	直※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					9,517.6		¹⁵ 476.7
その	水道及び工業	用水道		m^3	2,850.0			0.2660	0.8
他	公共下水道			m^3	2,850.0	/		0.4000	1.1
		合 計							1.9

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼		
汨 紹	戦体制の整備				
//¥	→4 ihA 4 > TE N田				
エネルギー等の 使用状況の把握		B106	過去のデータによる傾向の把握		
		B107	主要設備の使用状況の把握		
Т					
	運用対策				
	/11 /11 /1				
省工					
ネ					
ルギ					
1				D104	空調フィルターの清掃・点検
対等	設備保守対策				
來					
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
	設備導入対策	E114	高効率パッケージの採用	E125	高輝度誘導灯の導入
				E104	照明用人感おなけの採用
				E105	照明用人感センサの採用
実 績	毎年度の目標達成	の状況	□ 目標達成した。		
	是出年度の地球				
	標の有無		無	T	NATA North
		ベンチマー			的減率(前年度比)
目標	原値等(選択)		に(延床面積当たり) kg-C(排出量(総量)
		その他	特記事項に内容を	記載	
	 侍記事項				

1 事業所等の概要

その2

事業所等の名称	京急第11ビル
事 業 所 番 号	A 0 6 3 2 — 0 0 4 3
	〒 1 0 8 - 0 0 7 4 区市町村名 東京都港区
事業所等の所在地	町 名 番 地 以 下 ^{高輪4-11-2}
事業所等の延床面積	3,606.84 m ² 事業所等の実績年度の エネルギー使用期間 ■ 1年度分 □ 1年未満
所 有 形態	■ 自己所有 □ 他者所有
報 告 範 囲	■ 建物の全部 □ 建物の一部(テナント) □ 建物の一部(その他)
却生然回の主もプログ	□ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲食)
報告範囲の主たる用途	□ 工場 ■ 複合施設 □ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1 連興化爭業区分 □ 直宮店 □ 加盟店 ■ 非該自
再生可能エネルギー の 利 用 状 況	□ 再生可能エネルギー □ 再生可能エネルギー電 □ 証書による環境価値 発電設備の設置 □ 気の受入 □ の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2020年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=@×0.0258)		52	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 102	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	t
	総計(④=②+③)	^④ 102	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 28.2	kg-CO ₂ /m ²

燃料等の種別		推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	排出	炭素排出量 排出量 ^{※1}	
			使用		6	7	® =(6 /1000)× 7	係数 ^⑨	(t) @=8×9×44/12
.164.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
7773	*** その他()				0.0				
	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
^(その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	209,365.4	9.76	2,043.4	0.4890	102.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2} kWh		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0		
	合 計						⁽⁴⁾ 2,043.4		102.4
その	水道及び工業	用水道		m^3	912.0			0.2660	0.2
他	公共下水道			m^3	912.0	/		0.4000	0.4
合 計							0.6		

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

		重点対策			その他対策
汨 繒		対策番号	対策名	対策番号	対策名
汨 織		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A401	テナントにエネルギー使用量提供
口 結じ				A402	使用量の推計に必要な情報の提供
組織体制の整備				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の		B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
	状況の把握	B107	主要設備の使用状況の把握		
-					
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C217	その他設備の不使用時の停止
Ne.	軍 用 対 策				
	軍 用 対 策				
省					
エ ネ					
ル					
ギー				D104	空調フィルターの清掃・点検
対					
策 記	没備保守対策				
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)		
- I	投備導入対策				
H	文 届 等八八八米				
主結	 年度の目標達成	の米沼	□ 目標達成した。		
人 //···································	一及少日保建版	1 7 1 7 1 1 1 1	口は深建みびた。		
5 提	出年度の地球	注温暖化 素	策の目標		
目札	漂 の 有 無	□有	無		
		ベンチマー	ク区分ラン	ノク CO	2削減率(前年度比) %
目標作	値等(選択)	CO ₂ 排出量	(延床面積当たり) kg-	-CO ₂ /m ² CO	2排出量(総量) t
		その他	特記事項に内容		
			<u> </u>		
5 特	宇記事項				